

令和2年度

公民館運営状況に関する
点検・評価報告書

令和2年12月

栃木市教育委員会事務局生涯学習部公民館課

目 次

1. 趣旨・目的	1
2. 点検評価の手順	1
3. 評価の基準	1
《参考》	2
4. 公民館点検・評価スケジュール等	3
5. 令和2年度(令和元年度事業)公民館点検・評価一覧表	4
6. 令和2年度(令和元年度事業)公民館点検・評価シート	5

令和2年度（令和元年度事業）公民館運営状況に関する 点検・評価等について

1. 趣旨・目的

公民館運営状況に関する評価等については、平成15年6月の文部科学省告示による公民館の設置及び運営に関する基準に続き、平成20年6月に社会教育法が改正され、公民館は運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき、運営の改善を図るために必要な措置を講ずるよう努めるものとされました。

また、地域住民等の関係者の理解を深め、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、運営の状況を積極的に提供するよう努めるものとされました。

本市においても、栃木市教育計画の主な施策及び栃木市生涯学習振興計画の主要施策である「社会教育施設の充実」の中において、社会教育施設の利便性向上を図るため、施設運営状況の評価を行うことを具体的な取組事項として位置づけています。社会教育施設の中でも公民館は、地域課題の解決に向けた拠点施設として重要な役割を担っていることから、公民館運営の状況に関する評価を行い、効果的な公民館運営及び活動の推進に努めることが必要です。

以上のようなことから、各公民館における運営状況等を見直し、改善していくことを目的として、職員による自己評価及び栃木市公民館運営審議会による外部評価を実施し、その結果を地域住民の皆様に公表していきます。

2. 点検評価の手順

各公民館運営方針に基づき、各公民館が自己点検・自己評価を行い、栃木市公民館運営審議会に報告します。

次に、栃木市公民館運営審議会委員は、各公民館からの自己評価を踏まえ、外部評価を行います。その後、外部評価の結果を市ホームページ等に掲載することにより公表します。

3. 評価の基準

評価の基準は、「公民館運営」、「地域の学習拠点づくり」、「施設の利用」の3つの事業の評価項目について、AAからDの5段階評定とし、総合評価を行います。

【評価の視点】

- AA 大変よくできた（十二分）
- A よくできた（十分）
- B できた（普通）
- C できなかった（やや不十分）
- D まったくできなかった（不十分）

《参 考》

★公民館の設置及び運営に関する基準（平成15年6月6日 文部科学省告示112号）

（事業の自己評価等）

第10条 公民館は、事業の水準の向上を図り、当該公民館の目的を達成するため、各年度の事業の状況について、公民館運営審議会等の協力を得つつ、自ら点検及び評価を行い、その結果を地域住民に対して公表するよう努めるものとする。

★社会教育法（平成20年6月11日改正）

（運営の状況に関する評価等）

第32条 公民館は、当該公民館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき公民館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

（運営の状況に関する情報の提供）

第32条の2 公民館は、当該公民館の事業に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該公民館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

公民館点検・評価スケジュール等

年度	月	内 容	備 考
R元 (参考)	H31.4月 ~R元.5月	・公民館点検・評価シート各公民館による自己評価	
	6月	27日(木) 第1回 公民館運営審議会 ・講座の成果・計画等及び平成30年度公民館点検・評価の説明	学級講座受講者 満足度調査【各年随時】
	7月	・点検評価に係る各委員からの質問受付(7/8まで) 29日(月) 第2回 公民館運営審議会 ・各委員からの評価・意見等の報告 ・委員による外部評価実施	
	8月	28日(水) 正副委員長による委員評価・意見等の確認	
		10日(火) 教育委員会連絡調整会議への実施報告 19日(木) 公民館運営審議会委員及び社会教育委員へ 報告書配付 27日(金) 定例教育委員会への実施報告	
	11月	・令和元年度(平成30年度事業)公民館点検・評価シート(報告書)公表	施設利用団体満足度 調査実施期間 【R元年10月~11月】
R2	4月~5月	・公民館点検・評価シート各公民館による自己評価	
	7月	29日(水) 第2回 公民館運営審議会 ・令和2年度公民館点検・評価の説明	
	8月	・点検評価に係る各委員からの質問受付(8/11まで)	
	9月	29日(火) 第3回 公民館運営審議会 ・各委員からの評価・意見等の報告 ・委員による外部評価実施	
	10月	22日(木) 正副委員長による委員評価・意見等の確認 30日(金) 公民館点検・評価シート(報告書)を作成し、公民館 運営審議会委員へ配付	
	11月	10日(火) 教育委員会連絡調整会議への実施報告 30日(月) 定例教育委員会への実施報告	
	12月	8日(火) 社会教育委員会議への点検・評価実施報告 ・令和2年度(令和元年度事業)公民館点検・評価シート(報告書)公表	

令和2年度（令和元年度事業） 公民館点検・評価一覧表

No.	公民館名	事業の評価項目						総括	
		公民館運営について		地域の学習拠点づくりについて		施設の利用について		総合評価	
		自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	自己評価	外部評価
1	栃木公民館	A	A	B	B	A	A	B	A
2	大宮公民館	B	B	A	A	B	B	B	B
3	皆川公民館	A	A	B	A	A	A	A	A
4	吹上公民館	A	A	A	A	A	A	A	A
5	寺尾公民館	B	B	A	A	A	A	A	A
6	国府公民館	A	A	A	A	A	A	A	A
7	大平公民館	A	A	B	B	A	A	B	B
8	大平西地区公民館					B	B	B	B
9	大平南地区公民館					B	B	B	B
10	大平東地区公民館					B	B	B	B
11	藤岡公民館	B	B	B	B	A	A	B	B
12	藤岡地区公民館					B	B	B	B
13	三鴨地区公民館					B	B	B	B
14	部屋地区公民館					B	B	B	B
15	赤麻地区公民館					B	B	B	B
16	都賀公民館	B	B	B	B	B	B	B	B
17	西方公民館	B	B	B	B	B	B	B	B
18	岩舟公民館	B	B	A	A	A	A	B	A
19	静和地区公民館					A	A	B	B
20	小野寺地区公民館					A	A	B	B

【評価】: AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通)
 C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)

令和2年度(令和元年度事業) 公民館点検・評価シート

公民館名		栃木市 栃木公民館				
職員数		6名(内訳) 正規職員 5名 非常勤職員 1名				
対象エリア		面積	15km ²	人口	39千人	
施設	開館年度	昭和46年		構造	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建	
	延床面積	3,321.25m ²		敷地面積	13,142.82m ²	
	室名	会議室(■講堂兼体育室 ■実習室 ■講座室 ■児童室 ■大 ■中 ■小)				
令和元年度 公民館運営方針		市民交流センターへの施設機能の移転を踏まえて、地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通して栃木地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。				
前年度改善 指摘事項		学習拠点として講座に多くの参加があり、学習成果も上がっている。サークル活動の立ち上げがなかったのが残念である。館内に講座を受講した市民の作品等を展示できるスペースを設けたり、ボランティアの活用等を検討するとよい。				
【単位:千円】		29年度 決算額	30年度 決算額	元年度 決算額	備考	
収入	施設使用料	1,067	1,091	769		
	講座等負担金	0	0	0		
	その他雑入	679	648	530		
	計	1,746	1,739	1,299		
	前年度比	15.1%	-0.4%	-25.3%		
支出	活動費	610	495	372		
	維持管理費	7,093	7,015	6,675		
	営繕工事費	815	775	932	冷房設備修理 外4件	
	事務費等	3,227	2,821	2,888		
	計	11,745	11,106	10,867		
	前年度比	-23.3%	-5.4%	-2.2%		
利用状況等	指標名		29年度	30年度	元年度	備考
	利用状況	利用者数	29,874人	26,434人	25,295人	延べ人数
		利用件数	2,032件	2,059件	1,894件	
		利用日数	320日	326日	329日	
		開館日数	359日	359日	360日	
		利用率	89.1%	90.8%	91.4%	公民館利用日数/公民館開館日数×100
	事業	事業日数	56日	51日	34日	
		参加者数	2,534人	2,428人	2,059人	延べ人数
	図書室	利用者数				
		貸出点数				
	支所等 業務	住民票等取扱件数				
		納税等取扱件数				

事業の評価項目		30年度		元年度		自己評価の主な理由
		自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか	A		A		公民館運営審議会における審議をもとに方針を協議し、運営方針を明確にしている。
	学級・講座の事業評価を行っているか	A		A		学級・講座の終了時にアンケート調査を実施し、それを基に事業評価を行い、学級・講座内容に反映させている。
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	B		B		利用者・地域住民との会話を通じて、要望等がある場合は出来るだけ応えるように努めている。
	公民館職員の研修機会を確保しているか	B		B		公民館長会議や庁内ネットワークを通して情報の共有化を図り、参考冊子等により知識の習得に努めている。
	公民館の運営全般が住民に認知されているか	B		B		市ホームページを通じ、公民館の主な業務や施設利用情報を発信している。
	自己点検・自己評価等の結果を地域住民に対して公表しているか	A		A		点検・評価の結果を公民館運営審議会委員等へ報告するとともに、点検評価報告書を市ホームページに公表している。
	項目評価	A	A	A	A	
地域の学習拠点づくりについて	地域の課題把握はされているのか	B		B		利用団体や地域団体等から寄せられる情報・課題等の把握に努めている。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	A		B		講座の開催にあたり、関係団体等の協力を得ながら実施している。
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	A		A		「笑いヨガ教室」や消費者被害防止のための防犯講座等、健康生活や現代的課題を意識した講座を開催した。
	地域の学校などと連携しているか	B		B		とちぎ未来アシストネット事業に係る関係事務や少年少女学級の募集案内等において連携を図っている。
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか	A		A		県市関係課や家庭教育オピニオンリーダー会、蔵の街シルバー楽習塾関係団体等と連携協力して事業を実施している。
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	B		B		各種講座に多数の参加があり、一定の学習成果は上がっているが、サークルの立上げまでの活用は見られなかった。
	学習・地域活動グループ相互の連携が図れるようにしているか	B		B		利用団体や講座受講者同士での親睦や連携は図れているが、グループ相互間の連携は見られなかった。
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	B		B		公民館だよりや講座募集チラシを市広報紙へ折り込み講座情報等を提供するとともに、学習相談に応じている。
	項目評価	B	B	B	B	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	B		B		施設の老朽化目立ち、設備等も利用者にも不便を感じさせている。夜間休日の施設利用の際は、業務委託した職員を配置して対応している。
	利用者への対応は適切か	A		A		言葉遣い等に配慮し、利用者に対する親切丁寧な対応を心掛けている。
	住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりができていますか	A		A		利用者へのあいさつや声掛け等を行い、話し易く住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりに努めている。
	苦情等に対して、迅速に対応し、職員間でその情報を共有しているか	A		A		利用者から苦情等があった場合は、対応可能な事案から速やかに対応するとともに、係内で情報共有している。
	図書室は利用されているか	—		—		公民館に図書室は設置していない。
	施設・設備の点検・整備を行っているか	B		B		市有建築物の定期点検を実施するとともに、施設・設備の状態を見ながら、必要な修繕を行った。
	避難訓練等を行っているか	A		A		消防計画に基づき、年2回消防訓練を実施している。
	項目評価	A	A	A	A	

評価: AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通)
C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)

利用者アンケートの結果	項目		満足①	どちらかといえば満足②	どちらかといえば不満③	不満④	合計(①～④)	満足度(①+②)	
	施設利用者満足度		12件	21件	6件	0件	39件	33件	
			30.8%	53.8%	15.4%	0.0%	100.0%	84.6%	
	学級・講座受講者満足度		397人	72人	5人	0人	474人	469人	
83.7%			15.2%	1.1%	0.0%	100.0%	98.9%		
総括	自己評価	総合評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)						
	職員	B	利用者に対し、親切丁寧な対応を心掛けるとともに、安全・安心して利用できるよう施設の維持管理を行った。また、地域の生涯学習の拠点施設として、関係団体・関係課等と連携協力しながら学級・講座を開催した。なお、台風19号の影響で施設の一部が暫く使用できず利用者に不便を生じさせ、また、講座の一部が中止になった。今後も施設の管理運営に注意しながら、利用者の意見を生かした公民館運営を行っていく。						
	外部評価	総合評価	評価に関する意見						
	公民館運営審議会委員	A	古い施設であるが、維持管理がなされていた。水害の影響等により利用が制限された時期もあったが、利用者に対する職員の安心・安全に配慮する対応は適切であった。また、地域の学習拠点として活動している。利用については、ホームページ、ケーブルテレビ、FMくらら等を活用して、若い方への関心を図ることが必要である。地域住民への情報発信拠点として、今後も利用促進に関する積極的な情報発信を継続してほしい。施設が新しくなり、多くの利用者が予想されることから、市の拠点となるよう期待したい。また、今後、更に地域の学習拠点づくりが向上することを望むとともに、利用者と職員のコミュニケーションが取りやすくなるよう期待します。						
改善事項		メディアを活用して、地域住民に情報の発信を行い、若い方にも関心が持てよう努めていきたい。地域の生涯学習の拠点となるよう、学校や地域との連携を図り、利用者とのコミュニケーションを取りながら、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館を目指していきたい。また、現代的課題(少子高齢化、自然災害、健康問題等)やそれに関連する地域における課題を踏まえつつ、今後も市民の学習ニーズに対応した講座の開催を図っていきたい。							
令和2年度公民館運営方針		地域の生涯学習の拠点として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通して栃木地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。また、新型コロナウイルス感染症防止を踏まえ、市民交流センターの安全な利用と適正な管理運営を図ります。							

令和2年度(令和元年度事業) 公民館点検・評価シート

公民館名		栃木市 大宮公民館				
職員数		4名(内訳) 正規職員 3名 臨時職員 1名				
対象エリア		面積	11km ²	人口	17千人	
施設	開館年度	平成9年		構造	鉄筋コンクリート造瓦葺2階建	
	延床面積	1,176.63m ²		敷地面積	3,110.26m ²	
	室名	会議室(■大 ■中 ■小) ■和室(1・2) ■調理室 ■その他(工作実習室、講座室)				
令和元年度 公民館運営方針		長期営繕計画等の策定に向けた検討を進め、地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通じて大宮地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。				
前年度改善 指摘事項		公民館だよりやまちづくり協議会の活用を図り、住民への啓発に勤め、地域の中心的な活動拠点となること。また、災害時における避難所としての機能を充実すること。				
【単位:千円】		29年度 決算額	30年度 決算額	元年度 決算額	備考	
収入	施設使用料	685	614	563		
	講座等負担金	0	0	0		
	その他雑入	84	97	91		
	計	769	711	654		
	前年度比	-6.4%	-7.5%	-8.0%		
支出	活動費	88	69	72		
	維持管理費	5,854	4,254	4,108		
	営繕工事費	1,374	1,110	544	避難口誘導灯取替工事 外8件	
	事務費等	3,585	2,898	2,858		
	計	10,901	8,331	7,582		
	前年度比	-2.8%	-23.6%	-9.0%		
利用状況等	指標名		29年度	30年度	元年度	備考
	利用状況	利用者数	20,794人	22,629人	22,988人	延べ人数
		利用件数	1,927件	1,744件	1,546件	
		利用日数	327日	344日	322日	
		開館日数	359日	359日	360日	
		利用日率	91.1%	95.8%	89.4%	公民館利用日数/公民館開館日数×100
	事業	事業日数	35日	35日	27日	
		参加者数	1,259人	1,062人	957人	延べ人数
	図書室	利用者数	 	 	 	
		貸出点数	 	 	 	
	支所等 業務	住民票等取扱件数	3,987件	3,734件	3,539件	
納税等取扱件数		3,753件	3,462件	3,107件		

事業の評価項目		30年度		元年度		自己評価の主な理由
		自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか	A		A		公民館運営審議会における審議をもとに方針を協議し、運営方針を明確にしている。
	学級・講座の事業評価を行っているか	B		B		学級・講座終了時のアンケート調査で、受講者が求めている内容であるか確認している。
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	B		B		受講者や受講を希望した方からの要望や提案に応えられるよう努めている。
	公民館職員の研修機会を確保しているか	B		B		館長会議や担当者会議等を通じて情報の共有を図るとともに、公民館関係冊子等を回覧し、知識の習得に努めている。
	公民館の運営全般が住民に認知されているか	B		B		公民館だより・班内回覧チラシの発行や貸館利用者等の窓口来館者に対する館内掲示により情報を提供している。
	自己点検・自己評価等の結果を地域住民に対して公表しているか	A		A		点検・評価の結果を公民館運営審議会委員等へ報告するとともに、点検評価報告書を市ホームページに公表している。
	項目評価	B	B	B	B	
地域の学習拠点づくりについて	地域の課題把握はされているのか	B		B		利用団体や地域住民等から寄せられる情報・課題等の把握に努めている。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	A		A		地域住民からなる関係団体より学級・講座の運営委員をお願いしている。
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	A		A		人権や消費者問題など出前講座を積極的に活用している。
	地域の学校などと連携しているか	B		B		少年少女学級の募集やとちぎ未来アシストネット事業、地域団体の行事での児童生徒の奉仕活動などで連携している。
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか	A		A		市・県の出前講座や他公民館との共催講座、地域団体の方を講師に招くなど連携協力している。
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	A		A		女性学級の受講者によるとちぎ未来アシストネット事業へのボランティア参加がある。
	学習・地域活動グループ相互の連携が図れるようにしているか	A		A		少年少女学級や地区まつりにおいて、各種関係団体や地域住民との連携が図られている。
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	B		B		自主活動団体の作品展示やとちぎ未来アシストネット事業・各学級講座の開催状況の掲示を行っている。
	項目評価	A	A	A	A	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	B		B		休日・夜間の職員が不在の時間を初めて利用する方には、前日までの鍵の預かりで不便を感じていると思われる。
	利用者への対応は適切か	B		B		利用者に対する親切丁寧な対応を心掛けている。
	住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりができていますか	A		A		ロビーの卓球台にラケット等を常備し、子供達だけでも気軽に入りやすい雰囲気をつくっている。
	苦情等に対して、迅速に対応し、職員間でその情報を共有しているか	B		B		利用者からの要望等については、対応可能な事案から速やかに対応するとともに、係員内で情報を共有している。
	図書室は利用されているか	B		B		ロビーの図書コーナーと展示コーナーの間にテーブルを設置し、相談・待合せの場所としても自由に利用できるようにしている。
	施設・設備の点検・整備を行っているか	B		B		市有建築物の定期点検を実施するとともに、施設・設備の状況を見ながら、必要な修繕等を行っている。
	避難訓練等を行っているか	A		A		消防計画に基づき、年2回消防訓練を実施している。
	項目評価	B	B	B	B	
<p>評価： AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通) C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)</p>						

利用者アンケートの結果	項目		満足①	どちらかといえば満足②	どちらかといえば不満③	不満④	合計(①～④)	満足度(①+②)
	施設利用者満足度		25件	9件	0件	0件	34件	34件
			73.5%	26.5%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
	学級・講座受講者満足度		101人	33人	1人	0人	135人	134人
74.8%			24.5%	0.7%	0.0%	100.0%	99.3%	
総括	自己評価	総合評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)					
	職員	B	地域の関係団体と連携して、受講者が気軽に参加できる体験型の学級・講座を開設し、地域住民の学習活動やとちぎ未来アシストネット事業を支援した。また、老朽施設のため、男子便所の感知式給水機等製造中止により入手困難となる部品の交換を行い、施設の機能維持に努めた。今後により充実した取り組みに努めてまいりたい。					
	外部評価	総合評価	評価に関する意見					
	公民館運営審議会委員	B	地域の生涯学習の拠点として、関係団体との連携及び地域住民の学習活動やアシストネットへの支援が図れた。いつも清潔で施設管理も行き届いており利用しやすく、利用者に対する対応は適切である。職員の対応も手際よく、住民に対しあたたかく接していただいている。気軽に立ち寄れる雰囲気づくりとしての卓球台の設置は、有効な手段の1つである。各世代において、現代的課題を踏まえた講座に工夫がみられる。 地域の活動拠点として、公民館活動を公民館だより等で地域に発信しているので、今後も継続をお願いしたい。避難施設としての機能を充実してほしい。夏休みなど長期休業中の子どもたちの居場所づくりに努めてほしい。地域柄、お年寄り子どもが多くいても交流が図られていないのが残念であり、公民館が拠点になるような取り組みを期待します。令和2年度については、新型コロナウイルス感染防止の観点から、市との連携をより綿密に進めていただき、施設の安全な利用と管理運営に努めてほしい。					
改善事項		学級・講座の開催やとちぎ未来アシストネット事業などにより、学校や地域との連携を図り、地域の住民が気軽に立ち寄れるような人と施設的环境づくりを心がけた。今後も、まちづくりにつながる活動を支援するとともに、関係各課と連携し、施設の安全な利用と指定避難所として適正に機能するよう施設の維持管理に努めたい。長期休業中の子どもたちの居場所づくりやお年寄り子どもの交流が図れる取り組み、さらに公民館活動を公民館だより等で地域に発信するよう努めたい。						
令和2年度公民館運営方針		地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通じて大宮地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。また、新型コロナウイルス感染症防止を踏まえ、施設の安全な利用と適正な管理運営を図ります。						

令和2年度(令和元年度事業) 公民館点検・評価シート

公民館名		栃木市 皆川公民館				
職員数		4名(内訳) 正規職員 3名 臨時職員 1名				
対象エリア		面積	27km ²	人口	4千人	
施設	開館年度	平成5年度		構造	鉄筋コンクリート造瓦葺2階建	
	延床面積	1,153.43m ²		敷地面積	13,268.00m ²	
	室名	会議室(■大 ■中 ■小) ■和室 ■調理室 ■その他(資料室・ボランティアルーム)				
令和元年度 公民館運営方針		長期営繕計画等の策定に向けた検討を進め、地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通じて皆川地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。				
前年度改善 指摘事項		地域の生涯学習拠点施設として、また、行政の身近な出先機関として、無くてはならない施設と認識されているが、地域ぐるみで交流できるような事業、地域の特色を活かせる講座等を計画し、期待に応えられるような公民館運営に努められたい。また、災害時における指定避難所施設と位置付けられている点では、危機管理課をはじめ関係各課との連携を強化し、適正に機能するよう施設の維持管理に努めたい。				
【単位:千円】		29年度 決算額	30年度 決算額	元年度 決算額	備考	
収入	施設使用料	245	204	207		
	講座等負担金	21	35	16		
	その他雑入	89	108	103		
	計	355	347	326		
	前年度比	-17.6%	-2.3%	-6.1%		
支出	活動費	80	77	44		
	維持管理費	6,013	4,880	4,223		
	営繕工事費	839	174	1,572	フェンス掛替工事、ブロック塀撤去工事	
	事務費等	309	300	217		
	計	7,241	5,431	6,056		
	前年度比	16.0%	-25.0%	11.5%		
利用状況等	指標名		29年度	30年度	元年度	備考
	利用 状況	利用者数	11,541人	10,042人	10,284人	延べ人数
		利用件数	546件	425件	457件	
		利用日数	274日	250日	258日	
		開館日数	360日	360日	360日	
		利用日率	76.1%	69.4%	71.7%	公民館利用日数/公民館開館日数×100
	事業	事業日数	30日	27日	23日	
		参加者数	678人	585人	522人	延べ人数
	図書 室	利用者数	1人	0人	0人	
		貸出点数	1点	点	点	
	支所 業務 等	住民票等取扱件数	1,426件	1,288件	1,264件	
		納税等取扱件数	1,690件	1,673件	1,469件	

事業の評価項目		30年度		元年度		自己評価の主な理由
		自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか	A		A		公民館運営審議会における審議をもとに方針を協議し、運営方針を明確にしている。
	学級・講座の事業評価を行っているか	B		B		学級・講座の終了時にアンケート調査を行い、その回答を参考に事業評価を行っている。
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	A		A		各種団体との協議や利用者との対話に努め、適切と思われる要望や意向を反映させるようにしている。
	公民館職員の研修機会を確保しているか	B		B		館長会議や担当者会議等で情報の共有を図り、公民館関係の情報誌等を回覧し、知識の修得に努めている。
	公民館の運営全般が住民に認知されているか	A		A		各種団体の行事等の回覧などを通じて公民館運営を地域住民に認知されるよう努めている。
	自己点検・自己評価等の結果を地域住民に対して公表しているか	A		A		点検・評価等の結果を公民館運営審議会等へ報告するとともに、点検評価報告書を市ホームページに公表している。
	項目評価	A	A	A	A	
地域の学習拠点づくりについて	地域の課題把握はされているのか	A		A		各種団体の会議、打合せ等において、地域の課題を把握するよう努めている。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	A		A		少年少女学級にアシストネット事業のボランティアの協力を得るなど、積極的に参加協力を得ている。
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	A		A		高齢者向けの交通安全教室や、人気の高い地域の歴史に関する講座等を実施している。
	地域の学校などと連携しているか	A		A		アシストネット事業、公民館の講座、地区内の各種行事等で、小中学校と連携している。
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか	B		B		地域の各種団体の事務局を担っており、相互連携を図っている。市内各公民館(吹上・寺尾公民館)と連携して講座を開講している。
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	B		B		館内ホールに作品を展示するほか、地区文化祭等の機会に学習成果の発表の場を設けている。
	学習・地域活動グループ相互の連携が図れるようにしているか	B		B		年度末に各種団体長会議を開催し、次年度の行事や地域の問題点について調整・協議する機会を設けている。
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	B		B		館内にアシストネットや講座の案内・作品を掲示し、他施設のパンフレット等も幅広く設置するようにしている。
項目評価	A	A	B	A		
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	A		A		各種団体の協力によりイベント実施の際に必要な備品が揃っている。地域外で定期的に利用する団体も複数あり、アンケートでの満足度は高い。
	利用者への対応は適切か	A		A		休日の貸館は事前の鍵の貸し出しにより対応しているが、休前日までに借りに来ない団体があれば電話等で連絡する等柔軟に対応している。
	住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりができていますか	A		A		毎日多くの地域の方々が公民館に立ち寄り、打合せ等に利用している。
	苦情等に対して、迅速に対応し、職員間でその情報を共有しているか	A		A		苦情等があった場合は、職員間の情報共有に努め、関係各課への連絡など迅速に対応するようにしている。
	図書室は利用されているか	B		B		館内の図書コーナーでは、講座の合間に閲覧している方がいる程度の利用となっている。
	施設・設備の点検・整備を行っているか	B		B		市有建築物としての定期点検を実施するとともに、施設、設備の状況を見ながら必要な修繕等を行えるよう努めている。
	避難訓練等を行っているか	A		A		消防計画に基づき、年2回の消防訓練を実施している。
項目評価	A	A	A	A		

評価: AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通)
C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)

利用者アンケートの結果	項目	満足①	どちらかといえば満足②	どちらかといえば不満③	不満④	合計(①～④)	満足度(①+②)
	施設利用者満足度	6件	2件	0件	0件	8件	8件
		75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
	学級・講座受講者満足度	66人	29人	2人	0人	97人	95人
68.0%		29.9%	2.1%	0.0%	100.0%	97.9%	
総括	自己評価	総合評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)				
	職員	A	施設利用者や講座受講者等の満足度は高い方で、今後も住民ニーズを把握しながら、適切な管理運営を継続していきたい。地域住民が気軽に立ち寄ることができる公民館と認識されており、今後もどんな問題に関心があるかなど情報の把握に努め、より魅力ある学級・講座が開設できるよう反映させていきたい。令和元年度は災害により中止した行事等も多かったが、今後は高齢化も一つの問題として考慮しながら、地域の行事・事業などの在り方について、他地域の取り組みなども参考にし、適正な情報提供に努めたい。 また、災害時には指定避難施設として、でき得る限りの対応に努めたが、今後も大きな災害の発生を見据えて、関係各課と連携しながら施設の安全対策を講じていきたい。				
	外部評価	総合評価	評価に関する意見				
	公民館運営審議会委員	A	地域の生涯学習の拠点として、地域住民の学習活動やアシストネットへの支援が図れた。地域住民の中心拠点としての施設運営がなされ、清潔で利用しやすく、誰もが、気軽に立ち寄れる雰囲気でも迎えてくれており、地域にとってなくてはならない施設として定着している。小学生向けの講座などは、職員が工夫して楽しい企画を考えてくれている。利用者人数が多く安定しており、毎年度工夫が見られる。 築後25年以上経過して施設の老朽化が見られ、修理が必要な箇所も出てきていると思われる。災害時は避難所としての役割もあるので、故障を未然に防げるよう、修理修繕を計画的に進めていただきたい。敷地が広いので夏場は特に草が繁茂することから予算措置のうえ定期的に除草していただきたい。ホールの展示がマンネリ化してきているので、小中学校の作品展などに貸出してはどうか。学習の成果は、作品を発表するだけでなく、学んだことを継続して、活動の場を広げることができると良い。				
改善事項	地域の生涯学習施設であり、行政の身近な出先機関として、今後も地域ぐるみで参加できるような事業や、アシストネット事業のボランティア人材等を活用した講座等を計画し、親しみを持てる公民館運営を図っていきたい。小中学生の作品をホールに展示したり、学習した成果を反映できるよう努めたい。また、災害時の指定避難所施設と位置付けられている点では、危機管理課をはじめ関係各課と協力し、適正に機能できるよう、あわせて、敷地内の除草や施設の故障を未然に防ぐために計画的に修理修繕を行うよう、維持管理に努めたい。						
令和2年度公民館運営方針	地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通じて皆川地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。また、新型コロナウイルス感染症防止を踏まえ、施設の安全な利用と適正な管理運営を図ります。						

令和2年度(令和元年度事業) 公民館点検・評価シート

公民館名		栃木市 吹上公民館			
職員数		4名(内訳) 正規職員 4名 臨時職員 0名			
対象エリア		面積	18km ²	人口	10千人
施設	開館年度	平成12年度		構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 瓦葺平屋建
	延床面積	1,186.69m ²		敷地面積	3,712.00m ²
	室名	会議室(■大■中■小) ■和室 ■調理室 ■その他(講座室、フリールーム)			
令和元年度 公民館運営方針		長期営繕計画等の策定に向けた検討を進め、地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通じて吹上地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。			
前年度改善 指摘事項		今後も公民館運営について改善する点を明確にし、見直しを含めてアシストネット事業や避難施設(指定避難所)としての機能充実に努めてほしい。			
【単位:千円】		29年度 決算額	30年度 決算額	元年度 決算額	備考
収入	施設使用料	300	299	349	
	講座等負担金	0	0	0	
	その他雑入	88	98	115	
	計	388	397	464	
	前年度比	-18.1%	2.3%	16.9%	
支出	活動費	82	87	75	
	維持管理費	3,381	3,271	3,279	
	営繕工事費	298	244	173	非常灯バッテリー取替、煙感知器取替、放送機器不良修理
	事務費等	2,602	2,588	1,587	
	計	6,363	6,190	5,114	
	前年度比	4.9%	-2.7%	-17.4%	
指標名		29年度	30年度	元年度	備考
利用状況	利用者数	17,268人	18,740人	17,540人	延べ人数
	利用件数	897件	880件	875件	
	利用日数	302日	299日	310日	
	開館日数	359日	359日	359日	
	利用日率	84.1%	83.3%	86.4%	公民館利用日数/公民館開館日数×100
事業	事業日数	34日	32日	32日	
	参加者数	911人	860人	775人	延べ人数
図書室	利用者数				
	貸出点数				
支所等 業務	住民票等取扱件数				
	納税等取扱件数				

事業の評価項目		30年度		元年度		自己評価の主な理由
		自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか	A		A		公民館運営審議会における審議をもとに方針を協議し、運営方針を明確にしている。
	学級・講座の事業評価を行っているか	B		A		学級・講座の終了時にアンケート調査を実施し、それを基に事業評価を行い、学級・講座内容に反映させている。
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	B		A		利用者や地域住民からの要望に対し、適切と思われるものに対しては出来るだけ意見を反映させるようにしている。
	公民館職員の研修機会を確保しているか	B		B		館長会議や担当者会議等に参加し、情報の共有を図るとともに、公民館関係冊子等を回覧し、知識の習得に努めている。
	公民館の運営全般が住民に認知されているか	B		A		公民館だよりを地区内全戸配布するほか、自治連の総会結果などは班内回覧で周知する。また、まち協ホームページに地域行事を掲載することで啓発を行っている。
	自己点検・自己評価等の結果を地域住民に対して公表しているか	A		A		点検・評価の結果を公民館運営審議会委員等へ報告するとともに、点検評価報告書を市ホームページに公表している。
	項目評価	B	B	A	A	
地域の学習拠点づくりについて	地域の課題把握はされているのか	A		A		各種団体連絡協議会などを通じて、地域の課題の把握に努めている。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	A		A		講座や教室などの開催にあたっては、地域の団体の協力を得ながら実施している。
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	A		A		人権や健康、交通安全など、生活・現代的課題に密接した講座を実施している。
	地域の学校などと連携しているか	A		A		地域の各種イベントやアシストネットにおいて、小・中学校の教育機関と協力、連携している。
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか	A		A		地区内の各種団体とは連絡を密にして連携を図る一方、皆川公民館、寺尾公民館とも連携講座を実施している。
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	B		B		公民館内に作品を展示するほか、文化祭等で学習成果の発表の機会を設けている。
	学習・地域活動グループ相互の連携が図れるようにしているか	B		B		各団体ごとの活動は活発だが、相互連携はあまり見られなかった。
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	A		A		アシストネット活動や文化団体の掲示コーナーを設ける一方、各種ポスター・チラシを館内ロビーに掲示して情報提供に努めている。
	項目評価	A	A	A	A	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	B		A		駐車台数の制限はあるが、施設は平屋構造で使いやすく、またインターチェンジに近いロケーションから、地域外の方の利用も多い。
	利用者への対応は適切か	A		A		利用者への気配りに配慮し、親切丁寧な対応を心掛け、適切な対応に努めている。
	住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりができていますか	A		A		利用者、地域住民に対し、気配り・心配りを忘れず、気軽に立ち寄れる公民館運営を心掛けている。
	苦情等に対して、迅速に対応し、職員間でその情報を共有しているか	A		A		利用者からの要望等については早急に対応するとともに、職員間で情報を共有し、今後の対応についても常に話し合っている。
	図書室は利用されているか	A		A		図書コーナーとしての利用以外に、相談スペースとして有効に活用している。
	施設・設備の点検・整備を行っているか	B		B		市建築物の定期点検を実施するとともに、毎日点検を行い、必要な修繕等を行っている。
	避難訓練等を行っているか	A		A		消防計画に基づき、年2回の訓練を実施している。
項目評価	A	A	A	A		

評価: AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通)
C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)

利用者アンケートの結果	項目		満足①	どちらかといえば満足②	どちらかといえば不満③	不満④	合計 (①～④)	満足度 (①+②)
	施設利用者満足度		7件	5件	0件	0件	12件	12件
			58.3%	41.7%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
	学級・講座受講者満足度		166人	32人	2人	1人	201人	198人
82.6%			15.9%	1.0%	0.5%	100.0%	98.5%	
総括	自己評価	総合評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)					
	職員	A	地域の生涯学習の拠点及び市行政の出張所として、地域の中心施設となっている。各種団体と協力し、防災など共通課題を解決するとともに、地域住民が気軽に立ち寄れるよう職員一同心掛けている。今後も、施設の管理運営に注意しながら、利用者の意見を生かした公民館運営を行っていく。					
	外部評価		評価に関する意見					
	公民館運営審議会委員	A	地域の生涯学習の拠点として、地域住民の学習活動やアシストネットへの支援等が図れた。また、公民館職員は地域住民を暖かく迎えてくれている。学習拠点づくりについては、子供から大人まで参加できる講座が開催されており、内容についても満足度が高い。また、各種団体の会員が各地で開催される講座に講師として招かれるなど研究熱心な点が高く評価されている。多様な講座を開催するなど地域住民より期待されている。利用者人数が多く安定している。毎年度ごとに工夫が見られる。館内には地域の歴史を知る資料などが展示され、来館者に満足感を与えている。一方、公民館は駐車場が狭く、車社会の現在、来館者も不便を感じている。 令和元年10月の台風19号により地区内で災害が発生し、多くの住民が避難所として長期に亘り利用し、これに対する職員の対応が感謝されている。これからも関係機関と協力し対応の強化を図り、災害時における避難施設(指定避難所)としての機能を充実し、避難所としての準備をしてほしい。施設、設備については、適切な管理運営がされているが、当該年度で工事費が前年度より更に少なくなっている状況であり、今後老朽化していくので考慮してほしい。これからも現在の講座はもちろんのこと、もっと受講してみたいと思える講座の発掘に努めてほしい。また、活動グループ相互の連携には、行政の働きかけが大切だと思います。					
改善事項		災害時における避難施設としての機能を充実し、防災のみならず、地域の生涯学習拠点施設として、今後も地域住民の期待に応えられるよう適切に管理運営を行う。また、とちぎ未来アシストネット事業においては、地域アシストネット本部として、学校・地域コーディネーターと更に連携を図っていききたい。施設の利用については、不良個所の修繕に努めていききたい。講座内容をさらに充実するとともに活動グループの相互連携が図れるよう努めていききたい。						
令和2年度公民館運営方針		地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通じて吹上地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。また、新型コロナウイルス感染症防止を踏まえ、施設の安全な利用と適正な管理運営を図ります。						

令和2年度(令和元年度事業) 公民館点検・評価シート

公民館名		栃木市 寺尾公民館				
職員数		4名(内訳) 正規職員 3名 非常勤職員 1名				
対象エリア		面積	36km ²	人口	3千人	
施設	開館年度	平成10年		構造	鉄筋コンクリート一部鉄骨造平屋建	
	延床面積	1,110.31m ²		敷地面積	8,500.00m ²	
	室名	■大交流室 ■会議室 ■研修室 ■和室 ■調理室 ■その他(図書室、活動室)				
令和元年度 公民館運営方針		長期営繕計画等の策定に向けた検討を進め、地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通して寺尾地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。				
前年度改善 指摘事項		今後は公民館利用者が減るという現実もあるので、他地域との連携が必要となってくる。また、公民館運営について改善する点を明確にして取り組んでいくと良い。				
【単位:千円】		29年度 決算額	30年度 決算額	元年度 決算額	備考	
収入	施設使用料	61	71	69		
	講座等負担金	0	0	0		
	その他雑入	40	48	44		
	計	101	119	113		
	前年度比	-12.2%	17.8%	-5.0%		
支出	活動費	77	71	53		
	維持管理費	3,729	3,557	3,098		
	営繕工事費	137	729	3,545	ポーチ屋根修繕、浄化槽プロア交換工事、水道管引込み工事他8件	
	事務費等	310	174	207		
	計	4,253	4,531	6,903		
	前年度比	-9.1%	6.5%	52.4%		
利用状況等	指標名		29年度	30年度	元年度	備考
	利用 状況	利用者数	9,198人	8,477人	8,954人	延べ人数
		利用件数	365件	316件	344件	
		利用日数	199日	183日	182日	
		開館日数	359日	359日	360日	
		利用日率	55.4%	51.0%	50.6%	公民館利用日数/公民館開館日数×100
	事業	事業日数	26日	23日	24日	
		参加者数	930人	838人	846人	延べ人数
	図書 室	利用者数	100人	80人	80人	
		貸出点数	3点	12点	8点	
	支所 業務 等	住民票等取扱件数	1,423件	1,301件	1,409件	
		納税等取扱件数	2,053件	2,067件	1,848件	

事業の評価項目		30年度		元年度		自己評価の主な理由
		自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか	A		A		公民館運営審議会における審議をもとに方針を協議し、運営方針を明確にしている。
	学級・講座の事業評価を行っているか	A		A		学級・講座の終了時にアンケート調査を行い、それを基に事業評価を行っている。
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	B		B		利用者や地域住民の要望等には、出来るだけ応えられるよう努めている。
	公民館職員の研修機会を確保しているか	B		B		公民館関係者会議や館長会議への出席、公民館情報誌等の参考文献により、情報収集や自己研鑽に努めている。
	公民館の運営全般が住民に認知されているか	B		B		公民館だよりの地区内各戸配布や地域行事をまちづくり協議会ホームページへ掲載し、啓発を行っている。
	自己点検・自己評価等の結果を地域住民に対して公表しているか	A		A		点検・評価の結果を公民館運営審議会委員等へ報告するとともに、点検評価報告書を市ホームページに公表している。
	項目評価	B	B	B	B	
地域の学習拠点づくりについて	地域の課題把握はされているのか	A		A		地域住民等から寄せられる情報・課題の把握に努めている。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	A		A		関係団体から選出された地域住民が、各種講座の運営委員として企画運営に参加し、講座を開催している。
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	A		A		日赤健康生活支援講習や笑いヨガ等による健康生活を意識した講座及び人権に関する講座を開催した。
	地域の学校などと連携しているか	A		A		地域の各種イベントやアシストネットにおいて、小・中学校の教育機関と協力、連携している。
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか	A		A		市生涯学習課及び寿クラブ・女性会などの地域団体と連携しながら事業を実施している。また、皆川・吹上公民館と連携して女性学級を開催した。
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	B		B		各種講座に多数の参加があり、学習効果は上がっている。講座で制作した作品を地区文化祭に展示している。
	学習・地域活動グループ相互の連携が図れるようにしているか	B		B		学習グループの設立までには至っていないが、女性会などの地域団体内で、講座受講者同士の親睦を図っている。
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	B		B		アシストネット活動報告や各種ポスター・チラシ等を館内ロビーに掲示し、情報提供に努めている。
	項目評価	A	A	A	A	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	A		A		施設の利用で混雑することはなく、利用予約はスムーズである。また、平屋、広い駐車スペース、テーブル等の設備も整い利用しやすい。
	利用者への対応は適切か	A		A		利用者に対して積極的な声かけなど、話しやすい雰囲気づくりや気軽に立ち寄れる公民館運営を心掛けている。
	住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりができていますか	A		A		利用者、地域住民に対し、気配り・心配りを忘れず、気軽に立ち寄れる公民館運営を心掛けている。
	苦情等に対して、迅速に対応し、職員間でその情報を共有しているか	A		A		利用者からの苦情等については、対応可能な事案から対応するとともに、係員内で情報を共有している。
	図書室は利用されているか	B		B		蔵書数が少なく読書利用者は少ないが、クール及びウォームシェアスポットとして常時開放し、利用を促進している。
	施設・設備の点検・整備を行っているか	B		B		市有建築物の定期点検を実施するとともに、不良個所の補修に努めている。令和元年度は浄化槽プロア交換工事を行った。
	避難訓練等を行っているか	A		A		消防計画に基づき、年2回の消防訓練を実施している。
項目評価	A	A	A	A		

評価: AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通)
C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)

利用者アンケートの結果	項目		満足①	どちらかといえば満足②	どちらかといえば不満③	不満④	合計(①～④)	満足度(①+②)
	施設利用者満足度		18件	2件	0件	0件	20件	20件
			90.0%	10.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
	学級・講座受講者満足度		90人	22人	0人	0人	112人	112人
80.4%			19.6%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	
総括	自己評価	総合評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)					
	職員	A	地域の生涯学習の拠点及び市行政の支所として、地域の中心施設となっている。各種団体と協力し地域の行事を実施するとともに、地域住民が気軽に立ち寄れるよう職員一同心掛けている。今後も、施設の管理運営に注意しながら、利用者の意見を生かした公民館運営を行っていく。					
	外部評価	総合評価	評価に関する意見					
	公民館運営審議会委員	A	地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館になっており、地域住民の学習活動やアシストネットへの支援が図れた。また、地域活動の拠点施設として役割を果たし、地域の施設として十分に活用されている。清潔で明るい印象を受ける。寺尾地区住民と交流及び連携を図り、暮らしやすいまちづくりに取り組んでいる。新型コロナウイルス感染防止を踏まえ、安全な利用と適正な管理運営を行っている。災害時の避難所としての準備をすると共に、支所を中心に各種団体協力のもと災害対策に力を入れてほしい。					
改善事項	地域の課題を把握し、要望等に応えられる公民館運営に努めるとともに、改善すべき点は何かを明確にして取り組んでいく。また、関係機関・関係団体と連携協力しながら、学習の拠点づくりを進めていく。さらに、他の地域・団体等との連携を進め公民館利用者の拡大を図っていく。なお、指定避難所として適正に機能させるために、常に公民館施設の点検を行い、維持管理に努めていきたい。公民館を中心に各種団体等と協力しながら災害対策に努めていきたい。							
令和2年度公民館運営方針	地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通じて寺尾地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。また、新型コロナウイルス感染症防止を踏まえ、施設の安全な利用と適正な管理運営を図ります。							

令和2年度(令和元年度事業) 公民館点検・評価シート

公民館名		栃木市 国府公民館				
職員数		5名(内訳) 正規職員 5名				
対象エリア		面積	15km ²	人口	6千人	
施設	開館年度	平成15年		構造	鉄筋コンクリート造瓦葺平屋建	
	延床面積	1,199.64m ²		敷地面積	6,702m ²	
	室名	大交流室、中会議室、小会議室、講座室、調理実習室、和室1、和室2				
令和元年度 公民館運営方針		長期営繕計画等の策定に向けた検討を進め、地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通じて国府地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。				
前年度改善 指摘事項		現代的課題(少子高齢化、情報化、国際化、環境問題等)やそれに関連する地域における課題を踏まえつつ、今後も市民の学習ニーズに対応した講座を開催するとともに、受講するのみでなく、自主グループとなり活動を続けていくこと、更には、学んだ成果を地域で活かすことが出来るような機会を提供したり、紹介したりするなどのこともしていきたい。なお、災害発生時には市の災害警戒本部からの情報に注意し、迅速に避難所開設準備に取り掛かれるよう心掛けたい。				
【単位:千円】		29年度 決算額	30年度 決算額	元年度 決算額	備考	
収入	施設使用料	600	651	584		
	講座等負担金	0	0	0		
	その他雑入	331	331	301		
	計	931	982	885		
	前年度比	23.1%	5.5%	-9.9%		
支出	活動費	71	45	26		
	維持管理費	3,913	4,121	3,889		
	営繕工事費	59	180	106	大交流室LANコンセント修理工事、給湯室湯沸し器改修工事、浄化槽用ベルト交換工事、門扉撤去工事	
	事務費等	480	537	463		
	計	4,519	4,883	4,484		
	前年度比	-4.8%	8.1%	-8.2%		
利用状況等	指標名		29年度	30年度	元年度	備考
	利用 状況	利用者数	21,225人	23,972人	23,621人	延べ人数
		利用件数	1,104件	1,220件	1,502件	
		利用日数	319日	328日	324日	
		開館日数	359日	359日	360日	
		利用日率	88.9%	91.4%	90.0%	公民館利用日数/公民館開館日数×100
	事業	事業日数	22日	19日	23日	
		参加者数	437人	591人	512人	延べ人数
	図書 室	利用者数	0人	0人	5人	
		貸出点数	点	点	5点	
	支所 業務 等	住民票等取扱件数	3,272件	2,859件	2,934件	
		納税等取扱件数	3,291件	3,184件	2,839件	

事業の評価項目		30年度		元年度		自己評価の主な理由
		自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか	A		A		公民館運営審議会における審議をもとに方針を協議し、運営方針を明確にしている。
	学級・講座の事業評価を行っているか	B		A		学級・講座の終了時にアンケート調査を行い、それを基に事業評価を行っている。
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	B		A		利用者や地域住民からの要望に対し、適切と思われるものに対しては出来るだけ意見を反映させるようにしている。
	公民館職員の研修機会を確保しているか	B		B		館長会議や担当者会議等に参加し、情報の共有を図るとともに、公民館関係冊子等を回覧し、知識習得に努めている。
	公民館の運営全般が住民に認知されているか	B		A		公民館だよりを発行し、地区内で班内回覧をすることで、住民の認知を図っている。
	自己点検・自己評価等の結果を地域住民に対して公表しているか	A		A		点検・評価の結果を公民館運営審議会委員等へ報告するとともに、点検評価報告書を市ホームページに公表している。
	項目評価	B	B	A	A	
地域の学習拠点づくりについて	地域の課題把握はされているのか	A		A		まちづくり協議会や地域会議等で様々な課題について話し合い、現状における課題の把握に努めている。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	A		A		地域住民による国府公民館サポーター倶楽部「よっしゃあ！」の方々が、少年少女学級全7回のうち5回講師を引き受けて下さるなど、主体的に参加いただいている。
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	A		A		高齢者学級の中で、運動教室や輪投げ大会に加え、うたごえコンサートなど、心身ともに健康を保つための講座を行った。
	地域の学校などと連携しているか	A		A		ふるさとまつりや国庁まつり等のイベントやアシストネットにおいて、連携・協力をしている。
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか	A		A		自治会連合会をはじめ地域の各種団体や学校・PTA等と連携し事業を実施している他、大宮公民館と小学生対象の講座の3コマを共同で行った。
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	B		B		女性学級の受講者がふるさとまつりに自主的に作品を出品した。
	学習・地域活動グループ相互の連携が図れるようにしているか	A		A		少年少女学級と高齢者学級の連携講座で卓球をするなど、相互連携が図られている。
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	A		A		館内にアシストネットや講座の案内、文化団体の作品を掲示し、他施設のパンフレット等も幅広く置いている。
	項目評価	A	A	A	A	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	A		B		概ね高評価であるがネットでも使用申請が完結出来ると良いとのご意見がある(現在は仮予約のみ)
	利用者への対応は適切か	A		A		利用者に対する親切丁寧な対応を心掛けている。
	住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりができていますか	A		A		地域住民と職員の間が大変近く、窓口に気軽に立ち寄る方が多い。
	苦情等に対して、迅速に対応し、職員間でその情報を共有しているか	A		A		利用者からの要望等については迅速に対応すると共に、職員間で情報を共有している。
	図書室は利用されているか	A		A		打ち合わせや昼食場所など気軽に利用されているほか、数は少ないが本も貸し出されている。
	施設・設備の点検・整備を行っているか	B		B		市有建築物定期点検の他、職員による日常的な点検も行っているが、予算措置が叶わず不具合が解消されていないものもある。
	避難訓練等を行っているか	A		A		消防計画に基づき、年2回消防訓練を行っている。
項目評価	A	A	A	A		

評価: AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通)
C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)

利用者アンケートの結果	項目		満足①	どちらかといえば満足②	どちらかといえば不満③	不満④	合計(①～④)	満足度(①+②)
	施設利用者満足度		34件	14件	0件	0件	48件	48件
			70.8%	29.2%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
	学級・講座受講者満足度		366人	98人	3人	4人	471人	464人
77.7%			20.8%	0.6%	0.9%	100.0%	98.5%	
総括	自己評価	総合評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)					
	職員	A	施設の清潔さ・利用し易さ、職員の対応、総合的な満足度等、おしなべて高評価をいただいているので、今後もこの評価を損ねることのないよう努力していきたい。今回、学級・講座受講者で「満足」と答えた方の割合が前年に比べ、12.2%もアップした。今後も市民の学習ニーズに常に留意し、満足度の高い講座を開催していきたい。					
	外部評価	総合評価	評価に関する意見					
	公民館運営審議会委員	A	地域の生涯学習の拠点として、地域住民の学習活動やアシストネットへの支援が図れた。事業日数に対しての利用人数が多く、地域の拠点施設としての役割やニーズに応え実践している。地域活動の中心となり、様々な講座があり、利用者も多い。また、少年少女学級の講師にボランティアの協力があることは良い。市民アンケートや講師を身近なところから依頼するなど、事業内容に工夫が見られる。とても考えられている講座が多く、今のニーズにとっても合っている。 災害時の避難所としての準備をする。コロナ禍で自粛されている中、地域住民が安全、安心して利用できるように努力願います。また、現代的課題対応の更なる向上及び令和2年度公民館運営方針の実行に向けた取り組みを推進していただきたい。					
改善事項	現代的課題に対応するものとして、今年2月に教養講座として県の防災士会の方を招き、身近な防災対策についてお話しいただいた。「車中死をしないための対策」「身近なもので作る防災グッズ」など充実した内容であったが、講座の周知が地区内の班内回覧のみになってしまい、雨合羽や簡易トイレ製作など、受講者には好評であったのに受講者数としては少なかった。今後は、講座を開催することだけでなく、周知の仕方まで万全に準備し、より良い講座を市民に向け開催していきたい。また、災害時の避難所としての準備をし、地域住民が安全、安心して利用できるよう努めていきたい。							
令和2年度公民館運営方針	地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通じて国府地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。また、新型コロナウイルス感染症防止を踏まえ、施設の安全な利用と適正な管理運営を図ります。							

令和2年度(令和元年度事業) 公民館点検・評価シート

公民館名		栃木市 大平公民館				
職員数		5名(内訳) 正規職員 3名 非常勤職員 1名 臨時職員 1名				
対象エリア		面積	39.8km ²	人口	30千人	
施設	開館年度	昭和49年		構造	鉄筋コンクリート造2階建	
	延床面積	1973.48m ²		敷地面積	7,180.04m ²	
	室名	会議室(■第1. 2. 3. 4)和室(■第1. 2. 3. 4)■視聴覚室■調理室				
令和元年度 公民館運営方針		総合支所との複合化等を見据えつつ、地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通して大平地域住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。				
前年度改善 指摘事項		学習施設としての認識が希薄のため、住民の要望や各公民館及び小中学校との連携を図り、講座等の学習機会を充実してほしい。また、災害時における避難施設(指定避難所)として、適正に機能するよう、維持管理に努めてもらいたい。				
【単位:千円】		29年度 決算額	30年度 決算額	元年度 決算額	備考	
収入	施設使用料	552	516	404		
	講座等負担金	0	0	0		
	その他雑入	727	669	632		
	計	1,279	1,185	1,036		
	前年度比	4.8%	-7.3%	-12.6%		
支出	活動費	585	597	410		
	維持管理費	16,133	14,368	15,150		
	営繕工事費	15,981	335	881	リレー及びブレーカー交換工事 他2件	
	事務費等	5,188	1,931	1,845		
	計	37,887	17,231	18,286		
	前年度比	205.9%	-54.5%	6.1%		
利用状況等	指標名		29年度	30年度	元年度	備考
	利用 状況	利用者数	33,825人	31,453人	26,091人	延べ人数
		利用件数	2,111件	2,156件	1,853件	
		利用日数	352日	353日	331日	
		開館日数	359日	359日	360日	
		利用日率	98.1%	98.3%	91.9%	公民館利用日数/公民館開館日数×100
	事業	事業日数	74日	68日	56日	
		参加者数	1,584人	1,797人	1,326人	延べ人数
	図書 室	利用者数				
		貸出点数				
	支所 業務 等	住民票等取扱件数				
		納税等取扱件数				

事業の評価項目		30年度		元年度		自己評価の主な理由
		自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか	A		A		公民館運営審議会における審議をもとに方針等を協議し、運営方針を明確にしている。
	学級・講座の事業評価を行っているか	A		A		学級・講座終了時にアンケート調査を行い、それを基に事業評価を行っている。
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	A		A		公民館運営審議会委員からの意見聴取やアンケートを実施してニーズを把握している。
	公民館職員の研修機会を確保しているか	B		B		館長会議の結果を報告し、情報の共有を図るとともに、公民館関係冊子等を回覧し知識の習得に努めている。
	公民館の運営全般が住民に認知されているか	B		B		ロビーに掲示板を設置し、利用者や講座受講者等に対して情報発信をしている。
	自己点検・自己評価等の結果を地域住民に対して公表しているか	A		A		点検・評価の結果を公民館運営審議会委員等へ報告するとともに、点検評価報告書を市ホームページに公表している。
	項目評価	A	A	A	A	
地域の学習拠点づくりについて	地域の課題把握はされているのか	B		B		利用団体や地域住民から寄せられる情報・課題等の把握に努めている。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	A		A		各種イベントにおいて関係団体から組織される実行委員会等により企画運営に参画している。
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	A		A		アンケート等により課題を洗い出しながら高齢者等向けの健康生活につながる「ライフ・アップ講座」等を実施している。
	地域の学校などと連携しているか	A		A		アシストネット事業や子ども会育成会事業において情報の共有を図って運営にあたっている。
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか	A		A		各種事業を展開する中で、警察機関やPTA、民生児童委員、自治会等様々な機関団体と連携している。
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	B		B		講座の受講生は多く、学習の成果は得られているが、すぐには社会参加まで結びついていない。
	学習・地域活動グループ相互の連携が図れるようにしているか	B		B		関係団体や地域住民との連携は、イベント等において図られている。
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	B		B		展示コーナーを設置して、各公民館との連携し情報収集に努めながら、住民サービスの向上を図っている。
	項目評価	B	B	B	B	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	A		A		施設の老朽化のより、ハード面で少し不満がみられる。
	利用者への対応は適切か	A		A		親切丁寧な対応を心掛けている。
	住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりができていますか	A		A		明るく、誰もが気軽に立ち寄れる雰囲気づくりに努めている。
	苦情等に対して、迅速に対応し、職員間でその情報を共有しているか	A		A		日頃から苦情が出ないように心がけているが、苦情が出れば迅速な対応を心がけている。
	図書室は利用されているか	-		-		公民館に図書室は設置していない。
	施設・設備の点検・整備を行っているか	B		B		市有建築物の定期点検を実施するとともに、施設・設備の状況を見ながら、必要な修繕等を行っている。
	避難訓練等を行っているか	A		A		消防計画に基づき、年2回避難訓練を実施している。
	項目評価	A	A	A	A	
<p>評価： AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通) C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)</p>						

利用者アンケートの結果	項目		満足①	どちらかといえば満足②	どちらかといえば不満③	不満④	合計(①～④)	満足度(①+②)	
	施設利用者満足度		8件	9件	1件	0件	18件	17件	
			44.4%	50.0%	5.6%	0.0%	100.0%	94.4%	
	学級・講座受講者満足度		151人	49人	4人	1人	205人	200人	
73.7%			23.9%	1.9%	0.5%	100.0%	97.6%		
総括	自己評価	総合評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)						
	職員	B	誰もがいつでも気軽に利用できる公民館を目指して、前期・後期の講座を開催することが出来た。また、地域住民や施設の利用者に対して、親切丁寧な対応を行うとともに、柔軟な対応を心掛け、利用者の利便性向上に努めた。						
	外部評価	総合評価	評価に関する意見						
	公民館運営審議会委員	B	利用者が多く、地域住民の拠点として重要な施設となっている。講座も充実した内容で魅力があり好評であり、短期間で前期、後期に分かれ参加しやすい。昨年度は、水害の避難所として、また、3月からはコロナ感染症防止対策等、大変だったと思うが、住民の納得いく対応をしてくれた。講座への影響は大きく、残念ながら活性化はそがれたか。職員のご苦労ご努力に感謝したい。印刷機の利用、ロビーの展示や開放などの対応も良い。各種の事業計画及び実施をしており、大変とは思いますが今後も継続してほしい。施設、設備等の老朽化に対して、順次対応をお願いしたい。地域の課題をもう一度見直し、ますます地域の拠点となることを期待します。						
改善事項		地域の生涯学習の拠点となるよう、地域の課題をもう一度見直し、今後も学校や地域との連携を図りながら、誰もが気軽に利用できる公民館活動を推進していきたい。施設・設備の状態を見ながら、必要な修繕を行い、維持管理に努めたい。							
令和2年度公民館運営方針		地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通して大平地域住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。また、新型コロナウイルス感染症防止を踏まえ、施設の安全な利用と適正な管理運営を図ります。							

令和2年度(令和元年度事業) 公民館点検・評価シート

公民館名		栃木市 大平西地区公民館				
職員数		0名(内訳) 正規職員 0名 非常勤職員 0名 臨時職員 0名				
対象エリア		面積	14.9km ²	人口	11千人	
施設	開館年度	昭和58年		構造	鉄筋コンクリート造2階建	
	延床面積	678.93m ²		敷地面積	1,622.86m ²	
	室名	会議室(■第1.2) ■和室 ■児童室 ■調理実習室				
令和元年度 公民館運営方針		長期営繕計画等の策定に向けた検討を進め、地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通して大平西地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。				
前年度改善 指摘事項		施設・設備が老朽化しており、改善について検討したい。 災害時における避難施設については、関係各課と連携を図り指定避難所として適正に機能するよう施設の維持管理に努める。				
【単位:千円】		29年度 決算額	30年度 決算額	元年度 決算額	備考	
収入	施設使用料	131	141	103		
	講座等負担金	0	0	0		
	その他雑入	32	37	56		
	計	163	178	159		
	前年度比	-7.4%	9.2%	-10.7%		
支出	活動費	0	0	0		
	維持管理費	796	806	1,427		
	営繕工事費	0	0	152	2階東側外壁雨漏対策工事 他3件	
	事務費等	0	0	101		
	計	796	806	1,680		
	前年度比	-7.9%	1.3%	108.4%		
利用状況等	指標名		29年度	30年度	元年度	備考
	利用 状況	利用者数	5,262人	4,517人	3,534人	延べ人数
		利用件数	491件	416件	419件	
		利用日数	240日	245日	238日	
		開館日数	359日	359日	360日	
		利用日率	66.9%	68.2%	66.1%	公民館利用日数/公民館開館日数×100
	事業	事業日数				
		参加者数				
	図書 室	利用者数				
		貸出点数				
	支所 業務 等	住民票等取扱件数				
		納税等取扱件数				

事業の評価項目		30年度		元年度		自己評価の主な理由
		自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか					
	学級・講座の事業評価を行っているか					
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか					
	公民館職員の研修機会を確保しているか					
	公民館の運営全般が住民に認知されているか					
	自己点検・自己評価等の結果を地域住民に対して公表しているか					
	項目評価					
地域の学習拠点づくりについて	地域の課題把握はされているのか					
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか					
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか					
	地域の学校などと連携しているか					
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか					
	学習成果の活用、社会参加が図られているか					
	学習・地域活動グループ相互の連携が図れるようにしているか					
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか					
	項目評価					
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	B		B		施設の老朽化による不満がみられる。
	利用者への対応は適切か	A		A		親切丁寧な対応を心掛けている。
	住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりができていますか	A		A		明るく、誰もが気軽に立ち寄れる雰囲気づくりに努めている。
	苦情等に対して、迅速に対応し、職員間でその情報を共有しているか	A		A		日頃から苦情が出ないように心がけているが、苦情が出れば迅速な対応を心がけている。
	図書室は利用されているか	—		—		公民館に図書室は設置していない。
	施設・設備の点検・整備を行っているか	B		B		不良箇所、不具合箇所は早期発見、早期対応を心掛けているが、予算の関係上優先順位による対応になっている。
	避難訓練等を行っているか	C		C		実施に向けて検討していく。
項目評価	B	B	B	B		
<p>評価： AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通) C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)</p>						

利用者アンケートの結果	項目		満足①	どちらかといえば満足②	どちらかといえば不満③	不満④	合計 (①～④)	満足度 (①+②)
	施設利用者満足度		3件	7件	0件	0件	10件	10件
			30.0%	70.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
	学級・講座受講者満足度		-人	-人	-人	-人	-人	-人
-%			-%	-%	-%	-%	-%	
総括	自己評価	総合評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)					
	職員	B	誰もがいつでも気軽に利用できる公民館を目指すため、苦情等についても迅速な対応に努め、利用者の利便性の向上を図った。					
	外部評価	総合評価	評価に関する意見					
	公民館運営審議会委員	B	施設、設備等の老朽化に対して、順次対応をお願いしたい。					
改善事項		地域の拠点として、地元住民から重要な施設として認識されていると思うが、学習施設としての認識は希薄であると思われる。住民の要望や各公民館と連携を図りながら学習機会の充実を図っていききたい。また、施設、設備が老朽化しており、改善についても検討していききたい。災害時における避難施設については、関係各課と連携を図り、指定避難所として適正に機能するよう施設の維持管理に努めたい。						
令和2年度公民館運営方針		地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館を目指すとともに、大平西地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。また、新型コロナウイルス感染症防止を踏まえ、施設の安全な利用と適正な管理運営を図ります。						

令和2年度(令和元年度事業) 公民館点検・評価シート

公民館名		栃木市 大平南地区公民館				
職員数		0名(内訳) 正規職員 0名 非常勤職員 0名 臨時職員 0名				
対象エリア		面積	12.9km ²	人口	13千人	
施設	開館年度	昭和60年		構造	鉄筋コンクリート造2階建	
	延床面積	669.8m ²		敷地面積	1,038.19m ²	
	室名	会議室(■第1.2) ■児童室 ■和室 ■作業室				
令和元年度 公民館運営方針		長期営繕計画等の策定に向けた検討を進め、地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通して大平南地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。				
前年度改善 指摘事項		施設・設備が老朽化しており、改善について検討したい。 災害時における避難施設については、関係各課と連携を図り指定避難所として適正に機能するよう施設の維持管理に努める。				
【単位:千円】		29年度 決算額	30年度 決算額	元年度 決算額	備考	
収入	施設使用料	122	118	108		
	講座等負担金	0	0	0		
	その他雑入	0	0	0		
	計	122	118	108		
	前年度比	6.1%	-3.3%	-8.5%		
支出	活動費	0	0	0		
	維持管理費	433	464	1,052		
	営繕工事費	0	51	0		
	事務費等	0	0	89		
	計	433	515	1,141		
	前年度比	13.6%	18.9%	121.6%		
利用状況等	指標名		29年度	30年度	元年度	備考
	利用 状況	利用者数	3,905人	4,322人	3,949人	延べ人数
		利用件数	365件	451件	486件	
		利用日数	240日	264日	256日	
		開館日数	359日	359日	360日	
		利用日率	66.9%	73.5%	71.1%	公民館利用日数/公民館開館日数×100
	事業	事業日数				
		参加者数				
	図書 室	利用者数				
		貸出点数				
	支所 業務 等	住民票等取扱件数				
		納税等取扱件数				

事業の評価項目		30年度		元年度		自己評価の主な理由
		自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか					
	学級・講座の事業評価を行っているか					
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか					
	公民館職員の研修機会を確保しているか					
	公民館の運営全般が住民に認知されているか					
	自己点検・自己評価等の結果を地域住民に対して公表しているか					
	項目評価					
地域の学習拠点づくりについて	地域の課題把握はされているのか					
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか					
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか					
	地域の学校などと連携しているか					
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか					
	学習成果の活用、社会参加が図られているか					
	学習・地域活動グループ相互の連携が図れるようにしているか					
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか					
	項目評価					
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	B		B		施設の老朽化による不満がみられる。
	利用者への対応は適切か	A		A		親切丁寧な対応を心掛けている。
	住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりができていますか	A		A		明るく、誰もが気軽に立ち寄れる雰囲気づくりに努めている。
	苦情等に対して、迅速に対応し、職員間でその情報を共有しているか	A		A		日頃から苦情が出ないように心がけているが、苦情が出れば迅速な対応を心がけている。
	図書室は利用されているか	—		—		公民館に図書室は設置していない。
	施設・設備の点検・整備を行っているか	B		B		不良箇所、不具合箇所は早期発見、早期対応を心掛けているが、予算の関係上優先順位による対応になっている。
	避難訓練等を行っているか	C		C		実施に向けて検討していく。
項目評価	B	B	B	B		
<p>評価： AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通) C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)</p>						

利用者アンケートの結果	項目		満足①	どちらかといえば満足②	どちらかといえば不満③	不満④	合計 (①～④)	満足度 (①+②)
	施設利用者満足度		3件	7件	0件	0件	10件	10件
			30.0%	70.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
	学級・講座受講者満足度		-人	-人	-人	-人	-人	-人
-%			-%	-%	-%	-%	-%	
総括	自己評価	総合評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)					
	職員	B	誰もがいつでも気軽に利用できる公民館を目指すため、苦情等についても迅速な対応に努め、利用者の利便性の向上を図った。					
	外部評価	総合評価	評価に関する意見					
	公民館運営審議会委員	B	施設、設備等の老朽化に対して、順次対応をお願いしたい。					
改善事項		地域の拠点として、地元住民から重要な施設として認識されていると思うが、学習施設としての認識は希薄であると思われる。住民の要望や各公民館と連携を図りながら学習機会の充実を図っていききたい。また、施設、設備が老朽化しており、改善についても検討していききたい。災害時における避難施設については、関係各課と連携を図り、指定避難所として適正に機能するよう施設の維持管理に努めたい。						
令和2年度 公民館運営方針		地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館を目指すとともに、大平南地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。また、新型コロナウイルス感染症防止を踏まえ、施設の安全な利用と適正な管理運営を図ります。						

令和2年度(令和元年度事業) 公民館点検・評価シート

公民館名		栃木市 大平東地区公民館				
職員数		0名 (内訳) 正規職員 0名 非常勤職員 0名 臨時職員 0名				
対象エリア		面積	12km ²	人口	6千人	
施設	開館年度	昭和56年		構造	鉄筋コンクリート造2階建	
	延床面積	615.99 m ²		敷地面積	1,744.8 m ²	
	室名	会議室(■第1.2)■和室■農産加工				
令和元年度 公民館運営方針		長期営繕計画等の策定に向けた検討を進め、地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通して大平東地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。				
前年度改善 指摘事項		施設・設備が老朽化しており、改善について検討したい。 災害時における避難施設については、関係各課と連携を図り指定避難所として適正に機能するよう施設の維持管理に努める。				
【単位:千円】		29年度 決算額	30年度 決算額	元年度 決算額	備考	
収入	施設使用料	105	97	54		
	講座等負担金	0	0	0		
	その他雑入	15	15	25		
	計	120	112	79		
	前年度比	-14.9%	-6.7%	-29.5%		
支出	活動費	0	0	0		
	維持管理費	992	589	1,503		
	営繕工事費	0	143	499	給水配管漏水修繕改修工事 他1件	
	事務費等	0	0	64		
	計	992	732	2,066		
	前年度比	-3.8%	-26.2%	182.2%		
利用状況等	指標名		29年度	30年度	元年度	備考
	利用 状況	利用者数	2,120人	1,619人	1,057人	延べ人数
		利用件数	248件	179件	155件	
		利用日数	150日	111日	91日	
		開館日数	359日	359日	360日	
		利用日率	41.8%	30.9%	25.3%	公民館利用日数/公民館開館日数×100
	事業	事業日数				
		参加者数				
	図書 室	利用者数				
		貸出点数				
	支所 業務 等	住民票等取扱件数				
		納税等取扱件数				

事業の評価項目		30年度		元年度		自己評価の主な理由
		自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか					
	学級・講座の事業評価を行っているか					
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか					
	公民館職員の研修機会を確保しているか					
	公民館の運営全般が住民に認知されているか					
	自己点検・自己評価等の結果を地域住民に対して公表しているか					
	項目評価					
地域の学習拠点づくりについて	地域の課題把握はされているのか					
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか					
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか					
	地域の学校などと連携しているか					
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか					
	学習成果の活用、社会参加が図られているか					
	学習・地域活動グループ相互の連携が図れるようにしているか					
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか					
	項目評価					
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	B		B		施設の老朽化による不満がみられる。
	利用者への対応は適切か	A		A		親切丁寧な対応を心掛けている。
	住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりができていますか	A		A		明るく、誰もが気軽に立ち寄れる雰囲気づくりに努めている。
	苦情等に対して、迅速に対応し、職員間でその情報を共有しているか	A		A		日頃から苦情が出ないように心がけているが、苦情が出れば迅速な対応を心がけている。
	図書室は利用されているか	—		—		公民館に図書室は設置していない。
	施設・設備の点検・整備を行っているか	B		B		不良箇所、不具合箇所は早期発見、早期対応を心掛けているが、予算の関係上優先順位による対応になっている。
	避難訓練等を行っているか	C		C		実施に向けて検討していく。
項目評価	B	B	B	B		

評価： AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通)
C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)

利用者アンケートの結果	項目		満足①	どちらかといえば満足②	どちらかといえば不満③	不満④	合計 (①～④)	満足度 (①+②)
	施設利用者満足度		2件	1件	0件	0件	3件	3件
			66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
	学級・講座受講者満足度		-人	-人	-人	-人	-人	-人
-%			-%	-%	-%	-%	-%	
総括	自己評価	総合評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)					
	職員	B	誰もがいつでも気軽に利用できる公民館を目指すため、苦情等についても迅速な対応に努め、利用者の利便性の向上を図った。					
	外部評価	総合評価	評価に関する意見					
	公民館運営審議会委員	B	施設、設備等の老朽化に対して、順次対応をお願いしたい。					
改善事項		地域の拠点として、地元住民から重要な施設として認識されていると思うが、学習施設としての認識は希薄であると思われる。住民の要望や各公民館と連携を図りながら学習機会の充実を図っていききたい。また、施設、設備が老朽化しており、改善についても検討していききたい。災害時における避難施設については、関係各課と連携を図り、指定避難所として適正に機能するよう施設の維持管理に努めたい。						
令和2年度公民館運営方針		地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館を目指すとともに、大平東地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。また、新型コロナウイルス感染症防止を踏まえ、施設の安全な利用と適正な管理運営を図ります。						

令和2年度(令和元年度事業) 公民館点検・評価シート

公民館名		栃木市 藤岡公民館				
職員数		4名(内訳) 正規職員 3名 非常勤職員 1名				
対象エリア		面積	60km ²	人口	16千人	
施設	開館年度	昭和48年		構造	鉄筋コンクリート造3階建	
	延床面積	2,309.40m ²		敷地面積	20,463.53m ²	
	室名	会議室(■大 ■中 ■小) ■和室 ■調理室 ■その他(多目的室)				
令和元年度 公民館運営方針	総合支所との複合化等を見据えつつ、地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通して藤岡地域住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。					
前年度改善 指摘事項	講座内容は工夫されており、利用状況も良好であるが、利用団体が減少している。講座から自主サークル活動へ移行させ、公民館活動を活性化させるよう改善が必要と思われる。施設の老朽化が顕著であるため、不具合が発生した際は安全面を考慮して、早急に対応されたい。					
【単位:千円】		29年度 決算額	30年度 決算額	元年度 決算額	備考	
収入	施設使用料	411	365	316		
	講座等負担金	0	0	0		
	その他雑入	291	541	458		
	計	702	906	774		
	前年度比	-17.5%	29.1%	-14.6%		
支出	活動費	374	373	342		
	維持管理費	12,044	9,385	11,770		
	営繕工事費	1,263	1,193	215	実習室空調機リモコン・室外機修繕工事 外2件	
	事務費等	2,451	2,645	2,930		
	計	16,132	13,596	13,711		
	前年度比	12.9%	-15.7%	0.8%		
利用状況等	指標名		29年度	30年度	元年度	備考
	利用 状況	利用者数	23,399人	20,715人	19,354人	延べ人数
		利用件数	1,939件	1,699件	1,585件	
		利用日数	335日	326日	311日	
		開館日数	359日	359日	360日	
		利用日率	93.3%	90.8%	86.4%	公民館利用日数/公民館開館日数×100
	事業	事業日数	78日	60日	60日	
		参加者数	1,387人	913人	1,135人	延べ人数
	図書 室	利用者数				
		貸出点数				
	支所 業務 等	住民票等取扱件数				
		納税等取扱件数				

事業の評価項目		30年度		元年度		自己評価の主な理由
		自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか	A		A		公民館運営審議会における審議をもとに方針等を協議し、運営方針を明確にしている。
	学級・講座の事業評価を行っているか	B		B		学級・講座等終了後にアンケート調査を実施し、それに基づく事業評価を行った。
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	A		A		各地域から選出された公民館運営審議会委員による審議等を踏まえ、対応している。
	公民館職員の研修機会を確保しているか	B		B		公民館長会議結果報告や県公連会議等の資料などの情報を全職員で共有し、知識の習得に努めている。
	公民館の運営全般が住民に認知されているか	A		A		公民館だよりを発行し、藤岡地域全戸に配布し各種情報の周知に努めている。
	自己点検・自己評価等の結果を地域住民に対して公表しているか	A		A		点検・評価の結果を公民館運営審議会委員等へ報告するとともに、点検評価報告書を市ホームページに公表している。
	項目評価	B	B	B	B	
地域の学習拠点づくりについて	地域の課題把握はされているのか	B		B		利用団体や地域住民から寄せられる情報・課題等を把握し、その解決に努力している。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	A		A		講座開設にあたり、公民館利用団体や文化団体の協力を得ている。各種イベント等へ利用団体、関係団体を積極的に参加してもらっている。
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	B		B		利用者アンケートの結果や要望により「栃木の歴史講座」を実施している。
	地域の学校などと連携しているか	A		A		アシストネット事業活用の他、夏休みに学校と連携し「カヌー体験講座」など子ども講座を開設している。
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか	A		A		講座開設にあたり、「人権講座」や「親子でクリスマス」、「手打ちそば講座」など関係機関の出前講座や文化団体の協力を得ている。
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	B		B		講座終了後に公民館ロビーや文化祭で成果作品を展示したり、講座参加者が自主サークルとして継続活動する事で、講座参加者・施設利用者の交流の場となっている。
	学習・地域活動グループ相互の連携が図れるようにしているか	B		B		文化団体や公民館利用団体・家庭教育オピニオンリーダーなどの社会教育団体と相互交流及び連携が図られている。
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	B		B		広報とちぎに記事の掲載、公民館だよりや各種チラシ等を発行し情報提供に努めている。
	項目評価	B	B	B	B	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	B		B		施設の老朽化、バリアフリー化がなされていないため、利用しづらい部分もあるが、努力をして市民の利便性を考慮して貸出している。
	利用者への対応は適切か	A		A		老朽化しているが、親切・丁寧な対応に心がけ利用者が気持ちよく使えるように努力している。
	住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりができているか	A		A		ロビーへチラシ等各種情報を複数箇所に配置し、ソファ等に座りじっくり寛げる空間づくりに努めている。
	苦情等に対して、迅速に対応し、職員間でその情報を共有しているか	A		A		複数の職員により苦情対応を迅速に行い、文書によりその情報共有を図っている。
	図書室は利用されているか	—		—		公民館に図書室は設置していない。
	施設・設備の点検・整備を行っているか	A		A		市有建築物定期点検を実施すると共に、職員による施設・整備の状況を見ながら、必要な修繕等を行っている。
	避難訓練等を行っているか	A		A		消防計画に基づき、年2回総合訓練を実施している。
	項目評価	A	A	A	A	

評価: AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通)
C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)

利用者アンケートの結果	項目		満足①	どちらかといえば満足②	どちらかといえば不満③	不満④	合計 (①～④)	満足度 (①+②)
	施設利用者満足度		6件	6件	4件	0件	16件	12件
			37.5%	37.5%	25.0%	0.0%	100.0%	75.0%
	学級・講座受講者満足度		109人	23人	2人	0人	134人	132人
81.3%			17.2%	1.5%	0.0%	100.0%	98.5%	
総括	自己評価	総合評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)					
	職員	B	実施した講座及びアンケートをもとに柔軟に新規講座を開催することができ、講座から自主サークルへの移行ができた。また利用団体と合同で講座を行うことができた。					
	外部評価	総合評価	評価に関する意見					
	公民館運営審議会委員	B	施設は老朽化しているが、清潔に保たれ、また、適切な配慮がなされ、利用者に対する心配りがされている。地域の学習拠点として、ニーズに添った講座が開講されている。講座に工夫が見られ、利用状況も良好である。公民館を利用する各団体との連携が図れ、適切なアドバイスがされている。施設がバリアフリー化されると良い。					
改善事項		公民館利用団体が減少しているので、講座から自主サークル活動へ移行させて公民館活動を活性化させるように改善していきたい。施設の老朽化が顕著であるが、安全面を考慮して、不具合が発生した際は、できるだけ早急に修繕するよう対応していきたい。また、施設のバリアフリー化に向けた取り組みを検討していきたい。						
令和2年度公民館運営方針		地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通して藤岡地域住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。また、新型コロナウイルス感染症防止を踏まえ、施設の安全な利用と適正な管理運営を図ります。						

令和2年度(令和元年度事業) 公民館点検・評価シート

公民館名		栃木市 藤岡地区公民館				
職員数		0名(内訳) 正規職員 0名 非常勤職員 0名				
対象エリア		面積	18km ²	人口	6千人	
施設	開館年度	昭和38年度		構造	木造・一部鉄骨造2階建	
	延床面積	625.02m ²		敷地面積	993.60m ²	
	室名	■講座室 ■研修室 ■和室 ■ホール				
令和元年度 公民館運営方針		総合支所との複合化等を見据えつつ、地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通して藤岡地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。				
前年度改善 指摘事項		地域の学習拠点として、誰もが気軽に活動できることを目指し取り組んでいる。施設の老朽化が顕著であるため、不具合が発生した際は安全面を考慮して、早急に対応されたい。				
【単位:千円】		29年度 決算額	30年度 決算額	元年度 決算額	備考	
収入	施設使用料	15	14	8		
	講座等負担金	0	0	0		
	その他雑入	0	0	0		
	計	15	14	8		
	前年度比	25.0%	-6.7%	-42.9%		
支出	活動費	0	0	0		
	維持管理費	969	1,257	1,073		
	営繕工事費	0	0	0		
	事務費等	87	79	75		
	計	1,056	1,336	1,148		
	前年度比	8.6%	26.5%	-14.1%		
利用状況等	指標名		29年度	30年度	元年度	備考
	利用状況	利用者数	502人	312人	276人	延べ人数
		利用件数	57件	49件	41件	
		利用日数	57日	50日	37日	
		開館日数	359日	359日	360日	
		利用日率	15.9%	13.9%	10.3%	公民館利用日数/公民館開館日数×100
	事業	事業日数				
		参加者数				
	図書室	利用者数				
		貸出点数				
	支所等 業務等	住民票等取扱件数				
		納税等取扱件数				

事業の評価項目		30年度		元年度		自己評価の主な理由
		自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか					
	学級・講座の事業評価を行っているか					
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか					
	公民館職員の研修機会を確保しているか					
	公民館の運営全般が住民に認知されているか					
	自己点検・自己評価等の結果を地域住民に対して公表しているか					
	項目評価					
地域の学習拠点づくりについて	地域の課題把握はされているのか					
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか					
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか					
	地域の学校などと連携しているか					
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか					
	学習成果の活用、社会参加が図られているか					
	学習・地域活動グループ相互の連携が図れるようにしているか					
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか					
	項目評価					
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	B		B		市民の利便性を考慮して貸出している。
	利用者への対応は適切か	A		A		老朽化しているが、利用者が気持ちよく使えるように努力している。
	住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりができていますか	B		B		気軽に利用できる雰囲気づくりを心掛けている。
	苦情等に対して、迅速に対応し、職員間でその情報を共有しているか	A		A		複数の職員により苦情対応を迅速に行い、文書によりその情報共有を図っている。
	図書室は利用されているか	—		—		公民館に図書室は設置していない。
	施設・設備の点検・整備を行っているか	A		A		市有建築物定期点検及び職員による日常点検と専門業者に委託し各種点検・整備を行っている。
	避難訓練等を行っているか	C		C		実施に向けて検討していく。
	項目評価	B	B	B	B	

評価： AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通)
C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)

利用者アンケートの結果	項目		満足①	どちらかといえば満足②	どちらかといえば不満③	不満④	合計 (①～④)	満足度 (①+②)
	施設利用者満足度		- 件	- 件	- 件	- 件	- 件	- 件
			- %	- %	- %	- %	- %	- %
	学級・講座受講者満足度		- 人	- 人	- 人	- 人	- 人	- 人
- %			- %	- %	- %	- %	- %	
総括	自己評価	総合評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)					
	職員	B	老朽化が著しいが、気軽に利用できるようにしている。利用者数は減少傾向にある。					
	外部評価	総合評価	評価に関する意見					
	公民館運営審議会委員	B	施設が古く、一部の団体のみでの利用となるのは仕方ない。利用団体が限られており、施設の改善・利便性は考えられないものか。					
改善事項		公民館利用団体が減少しているので、公民館活動が活性化するように改善していきたい。また、施設の老朽化が顕著であるため、安全面を考慮し、不具合が発生した際は、できるだけ早急に修繕するよう努めていきたい。併せて、今後の施設管理方法や利便性についても検討していきたい。						
令和2年度公民館運営方針		地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館を目指すとともに、藤岡地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。また、新型コロナウイルス感染症防止を踏まえ、施設の安全な利用と適正な管理運営を図ります。						

令和2年度(令和元年度事業) 公民館点検・評価シート

公民館名		栃木市 三鴨地区公民館				
職員数		0名 (内訳) 正規職員 0名 非常勤職員 0名				
対象エリア		面積	13km ²	人口	3千人	
施設	開館年度	昭和52年度		構造	鉄筋コンクリート造平屋建	
	延床面積	514.00m ²		敷地面積	2,473.50m ²	
	室名	会議室(■小) ■研修室 ■講座室 ■和室 ■調理室				
令和元年度 公民館運営方針		長期営繕計画等の策定に向けた検討を進め、地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、事業を通して三鴨地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。				
前年度改善 指摘事項		地域の学習拠点として、誰もが気軽に活動できることを目指し取り組んでいる。利用団体が減少しているため、公民館活動が活性化するような改善が必要と思われる。施設の老朽化が顕著であるため、不具合が発生した際は安全面を考慮して、早急に対応されたい。				
【単位：千円】		29年度 決算額	30年度 決算額	元年度 決算額	備考	
収入	施設使用料	33	30	32		
	講座等負担金	0	0	0		
	その他雑入	0	0	0		
	計	33	30	32		
	前年度比	-10.8%	-9.1%	6.7%		
支出	活動費	0	0	0		
	維持管理費	1,107	1,543	1,583		
	営繕工事費	0	237	0		
	事務費等	61	75	70		
	計	1,168	1,855	1,653		
	前年度比	-61.0%	58.8%	-10.9%		
利用状況等	指標名		29年度	30年度	元年度	備考
	利用状況	利用者数	2,280人	2,352人	2,391人	延べ人数
		利用件数	123件	110件	129件	
		利用日数	73日	99日	81日	
		開館日数	359日	359日	360日	
		利用率	20.3%	27.6%	22.5%	公民館利用日数／公民館開館日数×100
	事業	事業日数				
		参加者数				
	図書室	利用者数				
		貸出点数				
	支所等 業務	住民票等取扱件数				
		納税等取扱件数				

事業の評価項目		30年度		元年度		自己評価の主な理由
		自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか					
	学級・講座の事業評価を行っているか					
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか					
	公民館職員の研修機会を確保しているか					
	公民館の運営全般が住民に認知されているか					
	自己点検・自己評価等の結果を地域住民に対して公表しているか					
	項目評価					
地域の学習拠点づくりについて	地域の課題把握はされているのか					
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか					
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか					
	地域の学校などと連携しているか					
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか					
	学習成果の活用、社会参加が図られているか					
	学習・地域活動グループ相互の連携が図れるようにしているか					
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか					
	項目評価					
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	B		B		市民の利便性を考慮して貸出している。
	利用者への対応は適切か	A		A		老朽化しているが、利用者が気持ちよく使えるように努力している。
	住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりができていますか	B		B		気軽に利用できる雰囲気づくりを心掛けている。
	苦情等に対して、迅速に対応し、職員間でその情報を共有しているか	A		A		複数の職員により苦情対応を迅速に行い、文書によりその情報共有を図っている。
	図書室は利用されているか	—		—		公民館に図書室は設置していない。
	施設・設備の点検・整備を行っているか	A		A		市有建築物定期点検及び職員による日常点検と専門業者に委託し各種点検・整備を行っている。
	避難訓練等を行っているか	C		C		実施に向けて検討していく。
	項目評価	B	B	B	B	
評価： AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通) C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)						

利用者アンケートの結果	項目		満足①	どちらかといえば満足②	どちらかといえば不満③	不満④	合計 (①～④)	満足度 (①+②)
	施設利用者満足度		- 件	- 件	- 件	- 件	- 件	- 件
			- %	- %	- %	- %	- %	- %
	学級・講座受講者満足度		- 人	- 人	- 人	- 人	- 人	- 人
- %			- %	- %	- %	- %	- %	
総括	自己評価	総合評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)					
	職員	B	老朽化しているが、気軽に利用できるようにしており、利用者数は横ばい傾向にある。					
	外部評価	総合評価	評価に関する意見					
	公民館運営審議会委員	B	施設が古く、一部の団体のみでの利用となるのは仕方ない。利用団体が限られており、施設の改善・利便性は考えられないものか。無人の施設でも、気軽に利用できるように工夫がほしい。					
改善事項		公民館利用団体が減少しているので、公民館活動が活性化するように改善していきたい。また、施設の老朽化が顕著であるが、安全面を考慮し、不具合が発生した際はできるだけ早急に修繕するよう努めるとともに、今後も利用しやすい施設環境を目指していきたい。						
令和2年度 公民館運営方針		地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館を目指すとともに、三鴨地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。また、新型コロナウイルス感染症防止を踏まえ、施設の安全な利用と適正な管理運営を図ります。						

令和2年度(令和元年度事業) 公民館点検・評価シート

公民館名		栃木市 部屋地区公民館			
職員数		0名(内訳) 正規職員 0名 非常勤職員 0名			
対象エリア		面積	18km ²	人口	3千人
施設	開館年度	昭和53年度		構造	鉄筋コンクリート造平屋建
	延床面積	624.75m ²		敷地面積	3,128.36m ²
	室名	■研修室 ■和室 ■調理室 ■コミュニティホール			
令和元年度 公民館運営方針		長期営繕計画等の策定に向けた検討を進め、地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、事業を通して部屋地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。			
前年度改善 指摘事項		地域の学習拠点として、誰もが気軽に活動できることを目指し取り組んでいる。利用団体が減少しているため、公民館活動が活性化するような改善が必要と思われる。施設の老朽化が顕著であるため、不具合が発生した際は安全面を考慮して、早急に対応されたい。			
【単位:千円】		29年度 決算額	30年度 決算額	元年度 決算額	備考
収入	施設使用料	26	26	54	
	講座等負担金	0	0	0	
	その他雑入	0	0	0	
	計	26	26	54	
	前年度比	0.0%	0.0%	107.7%	
支出	活動費	0	0	0	
	維持管理費	918	1,165	1,165	
	営繕工事費	993	0	69	カーテン交換工事
	事務費等	106	110	105	
	計	2,017	1,275	1,339	
	前年度比	98.7%	-36.8%	5.0%	
指標名		29年度	30年度	元年度	備考
利用状況	利用者数	1,925人	2,085人	2,124人	延べ人数
	利用件数	142件	123件	168件	
	利用日数	102日	106日	121日	
	開館日数	359日	359日	360日	
	利用日率	28.4%	29.5%	33.6%	公民館利用日数/公民館開館日数×100
事業	事業日数				
	参加者数				
図書室	利用者数				
	貸出点数				
支所等 業務	住民票等取扱件数				
	納税等取扱件数				

事業の評価項目		30年度		元年度		自己評価の主な理由
		自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか					
	学級・講座の事業評価を行っているか					
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか					
	公民館職員の研修機会を確保しているか					
	公民館の運営全般が住民に認知されているか					
	自己点検・自己評価等の結果を地域住民に対して公表しているか					
	項目評価					
地域の学習拠点づくりについて	地域の課題把握はされているのか					
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか					
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか					
	地域の学校などと連携しているか					
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか					
	学習成果の活用、社会参加が図られているか					
	学習・地域活動グループ相互の連携が図れるようにしているか					
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか					
	項目評価					
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	B		B		市民利便を考慮して貸出している。
	利用者への対応は適切か	A		A		老朽化しているが、利用者が気持ちよく使えるように努力している。
	住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりができていますか	B		B		気軽に利用できる雰囲気づくりを心掛けている。
	苦情等に対して、迅速に対応し、職員間でその情報を共有しているか	A		A		複数の職員により苦情対応を迅速に行い、文書によりその情報共有を図っている。
	図書室は利用されているか	—		—		公民館に図書室は設置していない。
	施設・設備の点検・整備を行っているか	A		A		市有建築物定期点検及び職員による日常点検と専門業者に委託し各種点検・整備を行っている。
	避難訓練等を行っているか	C		C		実施に向けて検討していく。
	項目評価	B	B	B	B	
<p>評価： AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通) C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)</p>						

利用者アンケートの結果	項目		満足①	どちらかといえば満足②	どちらかといえば不満③	不満④	合計 (①～④)	満足度 (①+②)
	施設利用者満足度		- 件	- 件	- 件	- 件	- 件	- 件
			- %	- %	- %	- %	- %	- %
	学級・講座受講者満足度		- 人	- 人	- 人	- 人	- 人	- 人
- %			- %	- %	- %	- %	- %	
総括	自己評価	総合評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)					
	職員	B	老朽化しているが、気軽に利用できるようにしており、利用者数は横ばい傾向にある。					
	外部評価	総合評価	評価に関する意見					
	公民館運営審議会委員	B	施設が古く、一部の団体のみでの利用となるのは仕方ない。また、利用団体がシニア化して、利用者数が横ばいになっている。利用団体が限られており、施設の改善・利便性は考えられないものか。					
改善事項		公民館利用団体が減少しているので、公民館活動が活性化するように改善していきたい。また、施設の老朽化が顕著であるが、安全面を考慮し、不具合が発生した際はできるだけ早急に修繕するよう努めるとともに、今後も利用しやすい施設環境を目指していきたい。						
令和2年度 公民館運営方針		地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館を目指すとともに、部屋地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。また、新型コロナウイルス感染症防止を踏まえ、施設の安全な利用と適正な管理運営を図ります。						

令和2年度(令和元年度事業) 公民館点検・評価シート

公民館名		栃木市 赤麻地区公民館				
職員数		0名(内訳) 正規職員 0名 非常勤職員 0名				
対象エリア		面積	11km ²	人口	4千人	
施設	開館年度	昭和54年度		構造	鉄筋コンクリート造平屋建	
	延床面積	501.50m ²		敷地面積	2,206.94m ²	
	室名	■研修室 ■講座室 ■和室 ■調理室				
令和元年度 公民館運営方針		長期営繕計画等の策定に向けた検討を進め、地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、事業を通して赤麻地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。				
前年度改善 指摘事項		地域の学習拠点として、誰もが気軽に活動できることを目指し取り組んでいる。利用団体が減少しているため、公民館活動が活性化するような改善が必要と思われる。施設の老朽化が顕著であるため、不具合が発生した際は安全面を考慮して、早急に対応されたい。				
【単位:千円】		29年度 決算額	30年度 決算額	元年度 決算額	備考	
収入	施設使用料	18	19	22		
	講座等負担金	0	0	0		
	その他雑入	0	0	0		
	計	18	19	22		
	前年度比	12.5%	5.6%	15.8%		
支出	活動費	0	0	0		
	維持管理費	1,397	1,143	1,486		
	営繕工事費	151	99	74	カーテン交換工事	
	事務費等	110	129	115		
	計	1,658	1,371	1,675		
	前年度比	-54.1%	-17.3%	22.2%		
利用状況等	指標名		29年度	30年度	元年度	備考
	利用 状況	利用者数	2,963人	1,913人	3,292人	延べ人数
		利用件数	133件	129件	130件	
		利用日数	102日	61日	102日	
		開館日数	359日	359日	360日	
		利用日率	28.4%	17.0%	28.3%	公民館利用日数/公民館開館日数×100
	事業	事業日数				
		参加者数				
	図書 室	利用者数				
		貸出点数				
	支 所 等 業 務	住民票等取扱件数				
		納税等取扱件数				

事業の評価項目		30年度		元年度		自己評価の主な理由
		自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか					
	学級・講座の事業評価を行っているか					
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか					
	公民館職員の研修機会を確保しているか					
	公民館の運営全般が住民に認知されているか					
	自己点検・自己評価等の結果を地域住民に対して公表しているか					
	項目評価					
地域の学習拠点づくりについて	地域の課題把握はされているのか					
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか					
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか					
	地域の学校などと連携しているか					
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか					
	学習成果の活用、社会参加が図られているか					
	学習・地域活動グループ相互の連携が図れるようにしているか					
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか					
	項目評価					
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	B		B		市民の利便性を考慮して貸出している。
	利用者への対応は適切か	A		A		老朽化しているが、利用者が気持ちよく使えるように努力している。
	住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりができているか	B		B		気軽に利用できる雰囲気づくりを心掛けている。
	苦情等に対して、迅速に対応し、職員間でその情報を共有しているか	A		A		複数の職員により苦情対応を迅速に行い、文書によりその情報共有を図っている。
	図書室は利用されているか	—		—		公民館に図書室は設置していない。
	施設・設備の点検・整備を行っているか	A		A		市有建築物定期点検及び職員による日常点検と専門業者に委託し各種点検・整備を行っている。
	避難訓練等を行っているか	C		C		実施に向けて検討していく。
	項目評価	B	B	B	B	

評価： AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通)
C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)

利用者アンケートの結果	項目		満足①	どちらかといえば満足②	どちらかといえば不満③	不満④	合計 (①～④)	満足度 (①+②)
	施設利用者満足度		- 件	- 件	- 件	- 件	- 件	- 件
			- %	- %	- %	- %	- %	- %
	学級・講座受講者満足度		- 人	- 人	- 人	- 人	- 人	- 人
- %			- %	- %	- %	- %	- %	
総括	自己評価	総合評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)					
	職員	B	老朽化しているが、気軽に利用できるようにしており、利用者数は横ばい傾向にある。					
	外部評価	総合評価	評価に関する意見					
	公民館運営審議会委員	B	施設が古く、一部の団体のみでの利用となるのは仕方ない。利用団体が限られており、施設の改善・利便性は考えられないものか。施設が古くても、安全に利用できるように点検をお願いしたい。					
改善事項		公民館利用団体が減少しているので、公民館活動が活性化するように改善していきたい。また、施設の老朽化が顕著であるが、安全面を考慮し、不具合が発生した際はできるだけ早急に修繕するよう努めるとともに、今後も利用しやすい施設環境を目指していきたい。						
令和2年度 公民館運営方針		地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館を目指すとともに、赤麻地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。また、新型コロナウイルス感染症防止を踏まえ、施設の安全な利用と適正な管理運営を図ります。						

令和2年度(令和元年度事業) 公民館点検・評価シート

公民館名		栃木市 都賀公民館				
職員数		4名(内訳)	正規職員 3名	非常勤職員 1名		
対象エリア		面積	31Km ²	人口	13千人	
施設	開館年度	昭和48年		構造	鉄筋コンクリート造2階建	
	延床面積	1,244.04m ²		敷地面積	4,046.63m ²	
	室名	■事務室■調理室■研修室1.2■会議室1.2■和室1.2■講堂■ロビー				
令和元年度 公民館運営方針		総合支所との複合化を踏まえて、地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、市民ニーズを捉えた事業を通して都賀地域住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。				
前年度改善 指摘事項		都賀公民館は施設再編により廃止が決定されているので、必要最低限の修繕を行いつつ、利用者に不便をかけないように努力していただきたい。また、敷地内の環境美化に努めていただきたい。期間の短い生涯学習講座を検討いただきたい。				
【単位:千円】		29年度 決算額	30年度 決算額	元年度 決算額	備考	
収入	施設使用料	383	385	408		
	講座等負担金	0	0	0		
	その他雑入	345	298	266		
	計	728	683	674		
	前年度比	-3.6%	-6.2%	-1.3%		
支出	活動費	647	587	587		
	維持管理費	7,625	7,669	7,558		
	営繕工事費	4,846	1,362	286	研修室天井防水修繕	
	事務費等	1,695	1,359	1,219		
	計	14,813	10,977	9,650		
	前年度比	-33.9%	-25.9%	-12.1%		
利用状況等	指標名		29年度	30年度	元年度	備考
	利用状況	利用者数	18,278人	18,442人	18,473人	延べ人数
		利用件数	1,138件	1,122件	1,124件	
		利用日数	335日	332日	329日	
		開館日数	359日	359日	360日	
		利用率	93.3%	92.5%	91.4%	公民館利用日数/公民館開館日数×100
	事業	事業日数	34日	34日	32日	
		参加者数	1,063人	762人	920人	延べ人数
	図書室	利用者数				
		貸出点数				
	支所等 業務	住民票等取扱件数				
納税等取扱件数						

事業の評価項目		30年度		元年度		自己評価の主な理由
		自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか	A		A		公民館運営審議会における審議をもとに方針を協議し、運営方針を明確にしている。
	学級・講座の事業評価を行っているか	B		B		学級・講座の終了時にアンケート調査を行い、それを基に事業評価を行っている。
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	B		B		利用者、地域住民との会話の機会を持ち、要望や提案にできるだけ応えられるように努めている。
	公民館職員の研修機会を確保しているか	B		B		公民館長会議結果報告や県公連会議等でいただいた資料など、常に最新情報を全職員で共有している。
	公民館の運営全般が住民に認知されているか	A		A		公民館だよりを都賀地区全戸に配布。公民館ロビー及びホームページによる情報発信。
	自己点検・自己評価等の結果を地域住民に対して公表しているか	A		A		点検・評価の結果を公民館運営審議会委員等へ報告するとともに、点検評価報告書を市ホームページに公表している。
	項目評価	B	B	B	B	
地域の学習拠点づくりについて	地域の課題把握はされているのか	B		B		都賀地区自公連会議を開催し、自治会公民館活動の課題解決のためのアドバイスを実施している。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	A		A		盆踊り大会や文化祭等、事業実施に向けた実行委員会を組織し、地域住民、地域団体が中心となり運営している。
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	B		B		核家族化が進み、お年寄りと小学生との世代間交流の「地域ふれあい事業」を、学校の昼休みを利用してのスポーツレクリエーション活動として行っている。
	地域の学校などと連携しているか	A		A		アシストネット事業を活用し、中学生に公民館イベントなどのボランティア活動に協力いただいている。
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか	A		A		「盆踊り大会」では、地元の各種団体、中学生ボランティア、スポーツ振興課の協力のもと事業を進めている。また、西方公民館と連携協力し、生涯学習合同講座を毎年開催している。
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	B		B		好評だった公民館講座については、受講された参加者有志で、講座終了後も継続活動しており、参加者のコミュニケーションの場にもなっている。
	学習・地域活動グループ相互の連携が図れるようにしているか	A		A		盆踊り大会、文化祭など事業をとおして、地域住民、地域団体が協働活動をすることにより、相互連携が図られている。
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	B		B		地元住民・団体はじめ、全ての来館いただく方に対し、満足していただけるよう最新情報の収集に努めている。
	項目評価	B	B	B	B	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	B		B		PC・夜間の施設予約はできるが、本申請は平日に手続きが必要。また、施設が古く、バリアフリー化がなされていないため障がいを持っている方の使用が難しい。
	利用者への対応は適切か	B		B		親切丁寧な接遇を心掛けている。
	住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりができていますか	A		A		来館いただく全ての方に対し、積極的にあいさつをし、気軽に話ができる公民館を目指し努力している。
	苦情等に対して、迅速に対応し、職員間でその情報を共有しているか	B		B		迅速に対応できるものについては、その日のうちに問題を解決し、速やかに対応した。
	図書室は利用されているか	—		—		公民館に図書室は設置していない。
	施設・設備の点検・整備を行っているか	B		B		市有建築物の定期点検を実施するとともに、施設・設備の状況を見ながら、必要な修繕等を行っている。
	避難訓練等を行っているか	A		A		消防計画に基づき、年2回消防訓練を実施している。
項目評価	B	B	B	B		

評価： AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通)
C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)

利用者アンケートの結果	項目		満足①	どちらかといえば満足②	どちらかといえば不満③	不満④	合計(①～④)	満足度(①+②)
	施設利用者満足度		29件	23件	2件	0件	54件	52件
			53.7%	42.6%	3.7%	0.0%	100.0%	96.3%
	学級・講座受講者満足度		94人	11人	0人	0人	105人	105人
89.5%			10.5%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	
総括	自己評価	総合評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)					
	職員	B	公民館事業を進めるにあたり、アシストネット事業と連携した、学校生徒のボランティア、地域団体、自治会公民館長等の協力により、官民が一体となり公民館事業を協働実施することができた。今後についても引き続き生涯学習拠点施設としての役割を果たしていきたい。					
	外部評価	総合評価	評価に関する意見					
	公民館運営審議会委員	B	諸団体との連携協力により住民と一体化した講座が開催され、活用が活発である。老朽化はしているが清潔に保たれている。館内トイレ用スリッパを新調し、清潔感が増し、気持ちよくトイレを利用している。ロビーに配置してあるチラシ等の陳列がきちんと整理され、利用しやすくなっている。関係団体との連携が良くできている。 施設利用者のコロナ感染防止、避難所の指定にもなっていることから「消毒液」「マスク」などの備蓄が必要。生涯学習講座に高齢者を対象とした「健康寿命アップ」的な講座を検討いただきたい。					
改善事項		公民館事業を実施するにあたり、各種団体、自治会など連携協力しながら事業展開をしているところであるが、団体、自治会など自らが活動する中で、サポートが必要となる場所が多少あることから、自主運営できるよう活動を支援していきたい。講座においては、高齢者の健康など関心の高い内容を検討していきたい。また、施設は老朽化し修繕箇所が多々あるが、施設再編により公民館が解体されることから、大規模な修繕については見送る方向であるため、利用者が安全で安心して施設利用できるよう、修繕すべきところは素早く修繕するとともに、新型コロナウイルス等の感染防止にも注意していきたい。						
令和2年度公民館運営方針		地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通して都賀地域住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。また、新型コロナウイルス感染症防止を踏まえ、施設の安全な利用と適正な管理運営を図ります。						

令和2年度(令和元年度事業) 公民館点検・評価シート

公民館名		栃木市 西方公民館				
職員数		4名(内訳) 正規職員 3名 非常勤職員 1名				
対象エリア		面積	32km ²	人口	6千人	
施設	開館年度	昭和49年		構造	鉄筋コンクリート造陸屋根2階建	
	延床面積	952.74m ²		敷地面積	13,302.94m ²	
	室名	会議室(■1階■2階大■2階小)多目的室(■1階■2階)■研修室■和室■調理室				
令和元年度 公民館運営方針		総合支所との複合化等を見据えつつ、地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通して西方地域住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。				
前年度改善 指摘事項		とちぎ未来アシストネット・にしかた子ども夏まつり・西方文化祭などについては、より一層、地域の関係機関団体との連携協力を図り、より充実した企画及び事業の運営にあたられたい。また、西方公民館講座については、生活・現代的課題や地域文化資源を活用した魅力あるものを企画されたい。				
【単位:千円】		29年度 決算額	30年度 決算額	元年度 決算額	備考	
収入	施設使用料	109	134	101		
	講座等負担金	0	0	0		
	その他雑入	161	163	127		
	計	270	297	228		
	前年度比	12.0%	10.0%	-23.2%		
支出	活動費	302	321	358		
	維持管理費	2,591	2,114	1,951		
	営繕工事費	2,281	315	290	2階会議室ブラインド交換工事 外3件	
	事務費等	4,480	624	579		
	計	9,654	3,374	3,178		
	前年度比	61.6%	-65.1%	-5.8%		
利用状況等	指標名		29年度	30年度	元年度	備考
	利用状況	利用者数	7,202人	8,158人	8,595人	延べ人数
		利用件数	629件	651件	658件	
		利用日数	286日	281日	256日	
		開館日数	359日	359日	360日	
		利用日率	79.7%	78.3%	71.1%	公民館利用日数/公民館開館日数×100
	事業	事業日数	80日	49日	44日	
		参加者数	4,465人	631人	599人	延べ人数
	図書室	利用者数				
		貸出点数				
支所等 業務	住民票等取扱件数	件	件	件		
	納税等取扱件数	件	件	件		

事業の評価項目		30年度		元年度		自己評価の主な理由
		自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか	A		A		公民館運営審議会における審議をもとに方針を協議し運営方針を明確にしている。
	学級・講座の事業評価を行っているか	B		B		学級・講座のの終了時にアンケート調査を行い、それを基に事業評価を行っている。
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	A		A		公民館利用者、西方文化協会等の文化団体や社会教育団体等の意向を反映できるよう努めている。
	公民館職員の研修機会を確保しているか	B		B		公民館担当者会議・研修会への参加を確保する他、各種職員研修会の情報を提供している。
	公民館の運営全般が住民に認知されているか	B		B		市ホームページ、地域内チラシ、公民館ホール掲示等により、公民館の各種情報を発信している。
	自己点検・自己評価等の結果を地域住民に対して公表しているか	A		A		点検評価の結果を公民館運営審議会委員等へ報告するとともに、点検評価報告書を市ホームページに公表している。
	項目評価	B	B	B	B	
地域の学習拠点づくりについて	地域の課題把握はされているのか	B		B		各振興計画の他、公民館会議及び利用団体や地域の方々から寄せられる情報から地域課題把握に努めた。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	A		A		子ども夏まつりや文化祭等公民館イベントを実行委員会にして、企画から運営まで参画していただいた。
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	B		B		「きんトシで107歳まで歩こう」や「軽スポーツでハッスル」、「タブレット教室」の他、地域の魅力再発見として、「真名子城跡再探訪」等の講座を開催した。
	地域の学校などと連携しているか	A		A		アシストネット事業の他、子ども夏まつりや文化祭等公民館イベントにおいて、連携・協力していただいた。
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか	A		A		イベントへ警察・消防・自衛隊・学校・PTA・育成会・社協・認定実働組織等連携協力いただいた。また、都賀公民館と連携協力し、交流講座講座を毎年開催している。
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	B		A		アシストネット事業で地域から学んだオカリナやダンスを夏まつりや文化祭で披露。公民館講座から新たに3B体操のあんぐるープが生まれた。
	学習・地域活動グループ相互の連携が図れるようにしているか	B		B		文化協会や文化祭及び「家庭教育オピニオンリーダー」との子育て連携講座等、相互連携に配慮している。
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	B		B		館内にアシストネット事業や社会教育団体の広報紙、公民館講座の案内、文化団体の作品を掲示する他、各地域パンフレット等を幅広く置いている。
	項目評価	B	B	B	B	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	B		B		定期利用者の申請を簡素化できないかとの意見がある。また、施設設備の老朽化、エレベーターもなく、バリアフリー化されていない。
	利用者への対応は適切か	B		B		利用者の目線で親切丁寧な対応を心掛けた。
	住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりができていますか	A		A		玄関ホールにテーブルや椅子を設置し、ちらしや情報誌を置くなど、誰もがくつろげる空間づくりに努めている。
	苦情等に対して、迅速に対応し、職員間でその情報を共有しているか	B		B		可能な限り迅速な対応に心がけている。必要に応じて電話口頭記録簿を作成する等、職員間で情報を共有した。
	図書室は利用されているか	—		—		H24.4から公民館図書室を多目的室に変更。講堂を図書館西方館として開館した。
	施設・設備の点検・整備を行っているか	B		B		市有建築物定期点検を実施。玄関タイル・ブラインド・蛍光灯の交換工事等を行った。
	避難訓練等を行っているか	A		A		西方総合支所・図書館西方館・西方公民館の複合施設であるため、連携して年2回消防計画に基づき実施している。
	項目評価	B	B	B	B	

評価: AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通)
C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)

利用者アンケートの結果	項目		満足①	どちらかといえば満足②	どちらかといえば不満③	不満④	合計 (①～④)	満足度 (①+②)
	施設利用者満足度		13 件	5 件	0 件	0 件	18 件	18 件
			72.2 %	27.8 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %	100.0 %
	学級・講座受講者満足度		172 人	55 人	0 人	3 人	230 人	227 人
74.8 %			23.9 %	0.0 %	1.3 %	100.0 %	98.7 %	
総括	自己評価	総合評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)					
	職員	B	地域の学習拠点づくりについては、アンケートを活かした公民館講座や恒例の夏まつりをリニューアルして開催した。各イベントの実施にあたっては、関係機関団体との連携協力を図りながら、団体自らが主体的に運営できるよう配慮した。また、熱中症や急な雷雨等への安全対策を考慮した。施設の利用については、施設・設備点検の上、玄関タイル・ブラインド等の営繕及び気軽に立ち寄れる雰囲気づくりに努めた。今後、地域の生涯学習の拠点施設として役割を果せるよう一層努めたい。					
	外部評価	総合評価	評価に関する意見					
	公民館運営審議会委員	B	住民のニーズに合った講座を開設したり、各種団体が主体的に運営ができるよう、親切丁寧な対応がされていた。また、各種講座で「生きがいつくり」や「人間関係づくり」を目指し、会い逢い楽校、女性セミナー、わくわくこども塾等、公民館講座で地域の生涯学習の拠点施設として役立っている。公民館ロビーにおいて、文化祭に展示された作品も展示され、地域住民に気軽に利用できる雰囲気づくりに努めている。施設は老朽化しているが、利用者を考慮した維持管理がされている。関係団体との連携が良くできている。 施設にはエレベーターがなく高齢者が安心して利用できないので、北部健康福祉センター、体育館、学校の一般開放を利用できるように図ってほしい。今後は、窓の網戸の設置が不可欠であり、利用者の高齢化を考えるとエレベーターの設置が必要である。					
改善事項		地域の方の求める公民館講座やイベントを企画していきたい。イベントの実施にあたっては、関係機関団体との連携協力を図りながら、団体自らが主体的に運営できるような支援をしていきたい。今後は、実施体制や安全対策など、事業の見直しをしていきたい。また、施設は老朽化が進んでいるので、施設・設備の安全点検の上、安心して使いやすい公民館の運営に努めたい。また、近隣の公共施設とも連携しながら利便性の向上を図っていきたい。						
令和2年度公民館運営方針		地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通して西方地域住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。また、新型コロナウイルス感染症防止を踏まえ、施設の安全な利用と適正な管理運営を図ります。						

令和2年度(令和元年度事業) 公民館点検・評価シート

公民館名		栃木市 岩舟公民館			
職員数		4名(内訳) 正規職員 3名 非常勤職員 1名			
対象エリア		面積	46.8km ²	人口	17千人
施設	開館年度	昭和45年		構造	鉄筋コンクリート造2階建
	延床面積	1013.5m ²		敷地面積	11,548m ²
	室名	■会議室1・2・3・4・5 ■団体事務室 ■講義室 ■多目的室 ■和室			
令和元年度 公民館運営方針		長期営繕計画等の策定に向けた検討を進め、地域の生涯学習の拠点として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、事業を通して岩舟地域住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。			
前年度改善 指摘事項		地域の拠点施設として運営され、生涯学習の拠点としても充実しており、その役割は十分に果たしている。公民館の館内は、子ども(児童・生徒)が自由に居られる場所があまりなく、部屋以外は冷暖房設備がないため、自由に利用できるロビーは季節によっては、居られない。今後は、気軽に利用できる公民館にするために、より一層、地域住民が利用できる活動をお願いしたい。			
【単位:千円】		29年度 決算額	30年度 決算額	元年度 決算額	備考
収入	施設使用料	690	877	850	
	講座等負担金	0	0	0	
	その他雑入	661	705	580	
	計	1,351	1,582	1,430	
	前年度比	6.4%	17.1%	-9.6%	
支出	活動費	412	393	407	
	維持管理費	5,393	5,549	5,500	
	営繕工事費	0	13	1,876	消火設備、トイレ配管ピット内湧水ポンプ
	事務費等	1,339	1,483	1,034	
	計	7,144	7,438	8,817	
	前年度比	-5.4%	4.1%	18.5%	
指標名		29年度	30年度	元年度	備考
利用状況	利用者数	17,654人	21,986人	17,616人	延べ人数
	利用件数	1,552件	1,790件	1,655人	
	利用日数	349日	336日	332日	
	開館日数	359日	359日	360日	
	利用日率	97.2%	93.6%	92.2%	公民館利用日数/公民館開館日数×100
事業	事業日数	26日	48日	51日	
	参加者数	537人	769人	907人	延べ人数
図書室	利用者数				
	貸出点数				
支所等 業務	住民票等取扱件数	件	件		
	納税等取扱件数	件	件		

事業の評価項目		30年度		元年度		自己評価の主な理由
		自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか	A		A		公民館運営審議会における審議をもとに方針を協議し、運営方針を明確にしている。
	学級・講座の事業評価を行っているか	A		A		学級・講座の終了時にアンケート調査を行い、それを基に事業評価を行っている。
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	B		B		利用受付時や利用終了後において、利用者と職員とのコミュニケーションを図っている。
	公民館職員の研修機会を確保しているか	B		B		公民館職員研修会の機会を捉え、参加をしている。
	公民館の運営全般が住民に認知されているか	A		A		公民館だよりやチラシの地域内配布、回覧、館内掲示等で情報発信をしている。
	自己点検・自己評価等の結果を地域住民に対して公表しているか	A		A		点検・評価の結果を公民館運営審議会委員等へ報告するとともに、点検評価報告書を市ホームページに公表している。
	項目評価	B	B	B	B	
地域の学習拠点づくりについて	地域の課題把握はされているのか	B		B		利用団体や地域住民から寄せられる情報・課題の把握に努めている。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	A		A		公民館講座や、文化祭においても地域住民や文化団体に参加協力を得ている。
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか	A		A		住民ニーズを把握しつつ、必要課題としての講座を立案している。(美文字講座、ウォーキング教室、シニア対象パソコン教室)
	地域の学校などと連携しているか	A		A		アシストネット事業や、文化祭時の園児、児童、生徒の作品出展など公民館を拠点に連携を取っている。
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか	A		A		館内に団体事務室(会議机、椅子、印刷機などを備えている)を設置し、使用時には、青少年育成会議や関係団体との連携を図っている。
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	A		A		公民館講座において、自主グループ活動へと発展した団体は、文化祭への参加や社会貢献として施設への慰問を行っている。
	学習・地域活動グループ相互の連携が図れるようにしているか	A		A		文化祭において、文化団体、社会教育団体等の参加が得られ、相互の連携が図られている。
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	B		B		常時、広く情報収集に努め公民館だより、地域への回覧、館内掲示等で情報提供をしている。
	項目評価	A	A	A	A	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	B		B		毎回、施設利用者に公民館使用報告書を出してもらっており、感想の読み取りから利用の満足は得られていると認識している。
	利用者への対応は適切か	A		A		市民の目線に立って、親切・丁寧な対応を心掛けている。
	住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりができていますか	A		A		来館者には、積極的に、コミュニケーションを取り、利用しやすい雰囲気づくりに努めている。
	苦情等に対して、迅速に対応し、職員間でその情報を共有しているか	A		A		職員の対応がまちまちにならないよう、絶えず情報の共有化を図っている。
	図書室は利用されているか	—		—		H26.4公民館図書室から市図書館岩舟館として閉館した。
	施設・設備の点検・整備を行っているか	A		A		市有建築物の定期点検を実施するとともに、施設・整備の状況を見ながら、必要な修繕等を行っている。
	避難訓練等を行っているか	A		A		消防計画に基づき、年2回消防訓練を実施している。
	項目評価	A	A	A	A	

評価: AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通)
C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)

利用者アンケートの結果	項目		満足①	どちらかといえば満足②	どちらかといえば不満③	不満④	合計(①～④)	満足度(①+②)
	施設利用者満足度		26件	11件	0件	0件	37件	37件
			70.3%	29.7%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
	学級・講座受講者満足度		208人	35人	1人	0人	244人	243人
85.3%			14.3%	0.4%	0.0%	100.0%	99.6%	
総括	自己評価	総合評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)					
	職員	B	公民館運営、地域の学習拠点づくり、施設利用について、再度足元を見直し、よりよい方策を打ち出すことが必要とされる。					
	外部評価	総合評価	評価に関する意見					
	公民館運営審議会委員	A	地域の学習拠点として、住民のニーズに叶った講座が開催されている。明るく利用しやすい施設であり、職員の対応も気持ち良い。職員は少ないが、利用者と積極的にコミュニケーションを取っている。 コロナウイルス感染防止のため、ロビーの使用が制限されているが、何か良い対策を講じて、再開してほしい。外トイレ(野球場側)の洋式化をお願いしたい。駐車場の街灯も防犯上明るくしてほしい。施設面では、夜間の利用の際、駐車場までの通路が暗く、外灯の設置をお願いしたい。					
改善事項		地域の生涯学習拠点施設として公民館運営全般を見直し、外トイレ(スポーツ振興課が所管)や外照明の整備検討など施設のハード面を含め、地域住民の皆様に利便性の高い施設運営、また活力ある地域社会の構築に向けた活動を展開していきたい。						
令和2年度公民館運営方針		地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館を目指すとともに、市民のニーズを捉えた事業を通して岩舟地域住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。また、新型コロナウイルス感染症防止を踏まえ、施設の安全な利用と適正な管理運営を図ります。						

令和2年度(令和元年度事業) 公民館点検・評価シート

公民館名		栃木市 静和地区公民館			
職員数		0名(内訳) 正規職員 0名 非常勤職員 0名			
対象エリア		面積	11.5km ²	人口	5.8千人
施設	開館年度	平成26年		構造	鉄骨造平屋建
	延床面積	516.95m ²		敷地面積	4,306m ²
	室名	■大会議室 ■小会議室1・2 ■調理実習室 ■和室			
令和元年度 公民館運営方針		長期営繕計画等の策定に向けた検討を進め、地域の生涯学習の拠点として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、事業を通して静和地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。			
前年度改善 指摘事項		新設して5年、多くの地域住民に利用されている。施設利用者には、毎回使用報告書の提出をお願いしているが、利用については満足されている。静和地域の活動拠点となっているが、無人の施設のため不便を感じている。今後も住民ニーズに叶った施設運営をしていくとともに、住民の交流と連携を大切にしてほしい。			
【単位:千円】		29年度 決算額	30年度 決算額	元年度 決算額	備考
収入	施設使用料	0	0	0	岩舟公民館使用料にて調定
	講座等負担金	0	0	0	
	その他雑入	24	69	97	
	計	24	69	97	
	前年度比				
支出	活動費	0	0	0	
	維持管理費	2,223	2,329	2,402	
	営繕工事費	0	0	0	
	事務費等	271	276	269	
	計	2,494	2,605	2,671	
	前年度比	-12.6%	4.5%	2.5%	
指標名		29年度	30年度	元年度	備考
利用状況	利用者数	8,835人	10,643人	9,924人	延べ人数
	利用件数	761件	880件	713件	
	利用日数	313日	307日	296日	
	開館日数	359日	359日	360日	
	利用日率	87.2%	85.5%	82.2%	公民館利用日数/公民館開館日数×100
事業	事業日数				
	参加者数				
図書室	利用者数				
	貸出点数				
支所等 業務	住民票等取扱件数				
	納税等取扱件数				

事業の評価項目		30年度		元年度		自己評価の主な理由
		自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか					
	学級・講座の事業評価を行っているか					
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか					
	公民館職員の研修機会を確保しているか					
	公民館の運営全般が住民に認知されているか					
	自己点検・自己評価等の結果を地域住民に対して公表しているか					
	項目評価					
地域の学習拠点づくりについて	地域の課題把握はされているのか					
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか					
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか					
	地域の学校などと連携しているか					
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか					
	学習成果の活用、社会参加が図られているか					
	学習・地域活動グループ相互の連携が図れるようにしているか					
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか					
	項目評価					
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	B		B		毎回、施設利用者に公民館使用報告書を出してもらっており、感想の読み取りから利用の満足は得られていると認識している。
	利用者への対応は適切か	A		A		市民の目線に立って、親切・丁寧な対応を心掛けている。
	住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりができているか	A		A		来館者には、積極的に、コミュニケーションを取り、利用しやすい雰囲気づくりに努めている。
	苦情等に対して、迅速に対応し、職員間でその情報を共有しているか	A		A		職員の対応がまちまちにならないよう、絶えず情報の共有化を図っている。
	図書室は利用されているか	—		—		静和地区公民館に図書室は設置していない。
	施設・設備の点検・整備を行っているか	A		A		市有建築物の定期点検を実施するとともに、施設・整備の状況を見ながら、必要な修繕等を行っている。
	避難訓練等を行っているか	A		A		消防計画に基づき、年2回消防訓練等を行っている。
	項目評価	A	A	A	A	

評価： AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通)
C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)

利用者アンケートの結果	項目		満足①	どちらかといえば満足②	どちらかといえば不満③	不満④	合計 (①～④)	満足度 (①+②)
	施設利用者満足度		- 件	- 件	- 件	- 件	- 件	- 件
			- %	- %	- %	- %	- %	- %
	学級・講座受講者満足度		- 人	- 人	- 人	- 人	- 人	- 人
- %			- %	- %	- %	- %	- %	
総括	自己評価	総合評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)					
	職員	B	無人の施設ではあるが、住民のニーズに叶った施設運営を行っていきたい。					
	外部評価	総合評価	評価に関する意見					
	公民館運営審議会委員	B	多くの住民に利用され、利用者の満足も得られている。 無人の施設なので難しいと思うが、地域の子どもたちが遊べる場所があると良い。地域の活動の拠点として、住民ニーズに叶った運営をお願いしたい。					
改善事項		公民館運営全般を見直し、地域の活動の拠点として住民ニーズに叶う、地域住民の皆様に利便性の高い施設運営、また活力ある地域社会の構築に向けた活動を展開していきたい。						
令和2年度公民館運営方針		地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館を目指すとともに、静和地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。また、新型コロナウイルス感染症防止を踏まえ、施設の安全な利用と適正な管理運営を図ります。						

令和2年度(令和元年度事業) 公民館点検・評価シート

公民館名		栃木市 小野寺地区公民館			
職員数		0名(内訳) 正規職員 0名 非常勤職員 0名			
対象エリア		面積	24.1km ²	人口	2.9千人
施設	開館年度	平成26年		構造	軽量鉄骨造2階建
	延床面積	479.81m ²		敷地面積	1012.48m ²
	室名	■第1・2・3会議室			
令和元年度 公民館運営方針		長期営繕計画等の策定に向けた検討を進め、地域の生涯学習の拠点として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指すとともに、事業を通して小野寺地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。			
前年度改善 指摘事項		公民館が無人であっても、地域の学習の拠点として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館活動を目指しており、地域住民との交流や連携を高めている。小野寺地域の活動拠点となっているが、無人のため不便を感じている。今後も住民ニーズに叶った施設運営をしていくようにしてほしい。			
【単位:千円】		29年度 決算額	30年度 決算額	元年度 決算額	備考
収入	施設使用料	0	0	0	岩舟公民館使用料にて調定
	講座等負担金	0	0	0	
	その他雑入	0	0	0	
	計	0	0	0	
	前年度比				
支出	活動費	0	0	0	
	維持管理費	906	988	943	
	営繕工事費	0	0	0	
	事務費等	46	52	51	
	計	952	1,040	994	
	前年度比	2.6%	9.2%	-4.4%	
指標名		29年度	30年度	元年度	備考
利用状況	利用者数	802人	1,863人	1,916人	延べ人数
	利用件数	63件	131件	115人	
	利用日数	152日	120日	96日	
	開館日数	359日	359日	360日	
	利用日率	42.3%	33.4%	26.7%	公民館利用日数/公民館開館日数×100
事業	事業日数				
	参加者数				
図書室	利用者数				
	貸出点数				
支所等 業務等	住民票等取扱件数	件	件		
	納税等取扱件数	件	件		

事業の評価項目		30年度		元年度		自己評価の主な理由
		自己評価	外部評価	自己評価	外部評価	
公民館運営について	公民館の運営方針を明確にしているか					
	学級・講座の事業評価を行っているか					
	公民館の運営に住民の意向を反映させているか					
	公民館職員の研修機会を確保しているか					
	公民館の運営全般が住民に認知されているか					
	自己点検・自己評価等の結果を地域住民に対して公表しているか					
	項目評価					
地域の学習拠点づくりについて	地域の課題把握はされているのか					
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか					
	生活・現代的課題や地域課題に関する講座を実施しているか					
	地域の学校などと連携しているか					
	関係行政機関、関係団体と連携協力はできているか					
	学習成果の活用、社会参加が図られているか					
	学習・地域活動グループ相互の連携が図れるようにしているか					
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか					
	項目評価					
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	B		B		毎回、施設利用者に公民館使用報告書を出してもらっており、感想の読み取りから利用の満足は得られていると認識している。
	利用者への対応は適切か	A		A		市民の目線に立って、親切・丁寧な対応を心掛けている。
	住民が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりができているか	A		A		来館者には、積極的に、コミュニケーションを取り、利用しやすい雰囲気づくりに努めている。
	苦情等に対して、迅速に対応し、職員間でその情報を共有しているか	A		A		職員の対応がまちまちにならないよう、絶えず情報の共有化を図っている。
	図書室は利用されているか	—		—		小野寺地区公民館に図書室は設置していない。
	施設・設備の点検・整備を行っているか	A		A		市有建築物の定期点検を実施するとともに、施設・整備の状況を見ながら、必要な修繕等を行っている。
	避難訓練等を行っているか	A		A		消防計画に基づき、年2回消防訓練等を行っている。
	項目評価	A	A	A	A	

評価： AA 大変よくできた(十二分) A よくできた(十分) B できた(普通)
C できなかった(やや不十分) D まったくできなかった(不十分)

利用者アンケートの結果	項目		満足①	どちらかといえば満足②	どちらかといえば不満③	不満④	合計 (①～④)	満足度 (①+②)
	施設利用者満足度		- 件	- 件	- 件	- 件	- 件	- 件
			- %	- %	- %	- %	- %	- %
	学級・講座受講者満足度		- 人	- 人	- 人	- 人	- 人	- 人
- %			- %	- %	- %	- %	- %	
総括	自己評価	総合評価	評価理由(施策効果の状況や今後の方向性などについて記載)					
	職員	B	無人の施設ではあるが、住民のニーズに叶った施設運営を行っていきたい。					
	外部評価	総合評価	評価に関する意見					
	公民館運営審議会委員	B	地域の活動の拠点として利用されている。 無人の施設ではあるが、地域住民の活動拠点となっている。使用申請が不便だと思う。ネットによる申請ができれば良いと思う。地域の生涯学習の拠点として、気軽に利用できる公民館運営をお願いしたい。					
改善事項		公民館運営全般を見直し、地域の生涯学習の拠点として気軽に利用でき、地域住民の皆様に利便性の高い施設運営、また活力ある地域社会の構築に向けた活動を展開していきたい。						
令和2年度 公民館運営方針		地域の生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる公民館を目指すとともに、小野寺地区住民の交流及び連携を図り、地域におけるいきいきとした暮らしやすいまちづくりを推進します。また、新型コロナウイルス感染症防止を踏まえ、施設の安全な利用と適正な管理運営を図ります。						